

南洋輸入材のアンブロシアキクイムシ類*

野 淵 輝⁽¹⁾

Akira NOBUCHI : Ambrosia Beetles found in Imported Tropical
Timbers from Southeast Asia and Others
(Coleoptera : Scolytidae)

要 旨 : この報告は前報“南洋輸入材のナガキクイムシ科”に続くもので、種名の決定したアンブロシアキクイムシ類の検索表、再記載を發表するものである。ここで取り扱った種類は *Eccoptopterus* 属 1 種, *Webbia* 属 7 種, *Arxyleborus* 属 7 種, *Xylosandrus* 属 2 種, *Xyleborus* 属 53 種の計 5 属 70 種である。

は じ め に

熱帯地方でのキクイムシ類は個体数、種類数ともに bark beetles が少なく、ambrosia beetles (pin hole borers) が多く、かつ日本に輸入されている丸太は剥皮されているので、これに付着してくるほとんどすべての穿孔虫は ambrosia beetles のキクイムシ類とナガキクイムシ科である。これらは非常に種類が多く、検索表もないため、不完全な原記載によって同定することが多く、同定困難なグループとされている。

筆者は先に横浜植物防疫所所蔵の Karl E. SCHEDL 教授の同定した標本を検討し、南洋輸入材のナガキクイムシ科の検索表と再記載を發表した(林試研報 296 : 101~155, 1977)。この報告は、この研究に続き南洋輸入材から発見同定された ambrosia beetles のキクイムシ類である *Eccoptopterus* 属, *Webbia* 属, *Arxyleborus* 属, *Xylosandrus* 属, *Xyleborus* 属を検討し、検索表と種の再記載を發表するものである。

標本の検鏡にあたって種々ご便宜をたまわった横浜植物防疫所小泉憲治調査課長、尊田望之害虫課長ならびに害虫課の各位、佐藤寛元東京支所長、名古屋植物防疫所大野静男管理官に厚くお礼申しあげる。

アンブロシアキクイムシ類

これらのキクイムシは材部に孔道を掘り、アンブロシア菌と共生関係を持ち、このような習性に順応した形態に特化した生態群である。Ipinae 亜科の Corthylini 族, Xyloterini 族, Eccoptopterini 族, Webbini 族, Xyleborini 族, Scolytoptatypinae 亜科の *Scolytoptatypus* 属がこれを代表するが、Hylesininae 亜科の Bothrosterini 族や Hyorrhynchini 族もアンブロシアキクイムシである。南洋輸入材からは Eccoptopterini 族, Webbini 族, Xyleborini 族の 3 族が発見されている。

* キクイムシ科の研究 第 14 報
1978年 6 月 26 日受理
(1) 保 護 部

族, 属への検索表

1. 後肢脛節は極端に幅広くかつ薄く扁平 (*Eccoptopterini*)。……………*Eccoptopterus* MOTSCHULSKY
 — 後肢脛節はやや幅広く厚い。…………… 2
2. 触角の中間節は 5 節 (*Xyleborini*)。…………… 3
 — 触角の中間節は 4 節 (*Webbini*)。……………*Webbia* HOPKINS
3. 前肢脛節の下面には皺をそなえる。……………*Arixyleborus* HOPKINS
 — 前肢脛節の下面には皺をそなえない。…………… 4
4. 前肢基節窩は広く離れる。……………*Xylosandrus* REITTER
 — 前肢基節窩は互いに接する。……………*Xyleborus* EICHHOFF

Eccoptopterus MOTSCHULSKY 属

9 種が記載されているが、輸入材からは次の 1 種だけが発見されている。

種 の 記 載 (雌)

Eccoptopterus spinosus (OLIVIER)

OLIVIER, 1794, Entomologie, ou Histoire Naturelle des Insectes, 3:9

体長 2.3~2.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{6}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。触角, 肢は赤褐色。光沢は弱い。

頭部は中高, 前顔の上方は大きく半円形に凹む。表面は微細な鮫肌状, 剛毛を疎生する。頭頂には大きい浅い点刻を疎にそなえる。

前胸背は長さと同幅が等しく, 側縁は弱く丸まって前方に広がり, その前方は次第に丸く狭まって前縁に続く。前縁は弱く丸まり, 4 個の半円形の突起をそなえるが, 内方のものは大きい。背面は非常に中高。頂上は中央の後方に位置し, 横に伸びる。瓦状片は前方にわずかに大きくなる。後方の点刻は不明瞭。全体に剛毛をそなえるが, 側縁, 前縁のものは長く, 基部中央のものは密生する。小楯板は小さく沈む。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{2}{9}$ 倍。側縁は次第に後方に丸く狭まり後縁となる。背面は密な顆粒点刻におおわれ粗造で点列部を欠き, 全体に寝た剛毛と長い立った剛毛をそなえる。斜面部は基方 $\frac{1}{3}$ の少し前から始まり, ゆるやかでほぼ平坦であるが, 側方は弱く隆起し, 会合線部はわずかに隆起する。上側方には大きな突起を, 中央両側にはやや大きな突起を, 下側方には小さな突起をそなえる。これら 3 対の突起はいずれも後内方に向く。表面は浅く粗大な点刻をそなえ, これらの点刻は短い寝た剛毛を有する。

後肢脛節は幅広く, 外方は内側に湾曲し, 跗節は扁平で葉片状をなす。

寄生樹種*: ラワン。

分 布: 支那 (台湾), インド支那, ビルマ, アンダマン諸島, フィリピン, ボルネオ, マラヤ, インド, セイロン, ニューギニア, オーストラリア, マダガスカル, アフリカ。

* アンブロシアクイムシは非常に広範囲の樹種に穿入するが, ここでは特に輸入材で発見されたもののみを掲げた。

Webbia HOPKINS 属

東洋区から 19 種が知られているが、輸入材からは 7 種が同定されている。

種 へ の 検 索 表 (雌)

1. 斜面部の中央は後方に広がった強大な突起をそなえ、その上、下端は尖る。斜面部の後縁は中央部で深く切れ込み、その側方は後方に強く突出する。翅鞘は前縁と後縁を除きやや透明で淡黄褐色。…………… 2
 - 斜面部は中央に強大な突起を欠く。斜面部の後縁は丸まる。翅鞘は完全に不透明で黄褐色ないし暗褐色。…………… 4
2. 斜面部の後縁の突起はほぼ矩形、先端は細くならない。体長は 2.1~2.3 mm。…………… *Webbia obtusipennis* SCHEDL
 - 斜面部の後縁の突起はほぼ三角形で先端は薄くなり尖る。…………… 3
3. 一体は幅広く、長さは幅の約 3 倍。斜面部後縁の突起間の湾入部は前方の弱く丸まった矩形。体長は 2.4~2.5 mm。…………… *Webbia platypoides* EGGERS
 - 一体は細長く、長さは幅の約 $3\frac{2}{7}$ 倍。斜面部後縁の突起間の湾入部は三角形。体長は 2.2~2.4 mm。…………… *Webbia pado* SAMPSON
4. 翅鞘の斜面部は鱗毛を密生し肌が見えない。前胸背と翅鞘背面には不規則な剛毛をやや密にそなえる。体長は 2.2~2.3 mm。…………… *Webbia spinipennis* SCHEDL
 - 翅鞘の斜面部は剛毛を疎生し肌が見える。前胸背の後方と翅鞘背面には剛毛を欠く。…………… 5
5. 一体は大きく (2.7 mm 以上)、太短い。斜面部は正円形に近く周辺に明瞭な歯状突起をそなえる。斜面部の条溝の間室は第 1 間室のみ隆起し、ほかは瘤起列となる。…………… 6
 - 一体は小さく (1.6~1.7 mm)、細長い。斜面部は細長い円形で周辺には歯状突起を欠き、小顆粒をそなえる。斜面部の条溝の間室は隆起する。…………… *Webbia orbicularis* SCHEDL
6. 翅鞘の斜面部前方はやや低くなり、鮫肌状で光沢を欠き、顆粒と短剛毛をそなえる。斜面部周辺を取りまく歯は片側に 9 個で、表面は明瞭な鮫肌状。斜面部の条溝の第 1 間室はほとんど均一に弱く隆起する。体長は 2.8~3.1 mm。…………… *Webbia dentatus* EGGERS
 - 翅鞘の斜面部前方は背面と同様平滑で光沢があり、顆粒と短毛を欠く。斜面部周辺をとりまく歯は片側に 14~15 個で表面は不明瞭な鮫肌状。斜面部の条溝の第 1 間室は中央部で竜骨状に強く隆起する。体長は 2.7~2.9 mm。…………… *Webbia 30-spinatus* SAMPSON

種 の 記 載 (雌)

Webbia obtusipennis SCHEDL

SCHEDL, 1966, Kontyû, 34 : 38

体長 2.1~2.3 mm。長さは幅の約 $3\frac{4}{9}$ 倍。黄褐色。頭部、前胸背、翅鞘の基部と斜面部は赤褐色、複眼は黒色。翅鞘は半透明。光沢は強い。

頭部は中高。表面は微細な鮫肌状、下方は細かく粗造、その上方は非常に浅い点刻をそなえる。

前胸背はほぼ円筒形。長さは幅の約 $1\frac{2}{3}$ 倍。側縁はほぼ平行し、後側角は丸まる。前側角は強く丸まり、前縁はほとんど一直線で側方においてわずかに丸まる。瓦状片は細かく前方ほぼ $1/3$ に分布する。後方は細かい鮫肌状、側方に微細な点刻を疎にそなえる。前方、側方には剛毛をそなえる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $2\frac{1}{7}$ 倍。基縁のすぐ後方に横隆起線をそなえる。側縁は中央部まで少し広がり、その後わずかに狭まる。点列部は第 1 点列部を除き不明瞭。列間部は隆起しない。斜面部は楕円形、やや急で背面と角をなし、わずかに中高、上縁と側縁には一定の間隔の小顆粒列をそなえる。後側縁は竜骨状をなす。後縁は円形に深く湾入し、その側方には扁平な瘤状の突起をそなえる。中央には後方より見てハの字形のやや扁平な大きな突起をそなえ、この先端は幅広く黒色で分岐しない。この突起より上方は細かい顆粒と剛毛列をそなえ、下方には剛毛を疎生するが平滑。

寄生樹種：セラヤ。

分 布：フィリピン。

Webbia platypoides EGGERS

EGGERS, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 105

体長 2.4~2.5 mm。長さは幅の約 3 倍。黄褐色。頭部、前胸背、翅鞘基部と斜面部は暗茶褐色。複眼は黒色。翅鞘は半透明。

頭部は中高、不明瞭な中央縦線をそなえる。表面は鮫肌状をなし、下方は細かく粗造、その上方は浅く凹陷する。

前胸背はほぼ円筒形で前方はわずかに傾斜する。長さは幅の約 $1\frac{1}{3}$ 倍。側縁はほぼ平行。後側角は丸まる。前側角は強く丸まる。前縁はほぼ一直線に近く側方で丸まる。瓦状片は小さく、前方 $1/3$ に分布する。後方 $2/3$ は細かい鮫肌状で微小な点刻を疎にそなえる。前縁と側縁には剛毛を生ずる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{5}{7}$ 倍。基縁はわずかに縁取られ、後方に湾入する。側縁は翅鞘長の基方 $1/3$ を中心に前後にわずかに狭まる。点列部は狭く凹まず、小さな点刻の列からなる。列間部は広く隆起せず、点刻を欠くが、基方には微毛をそなえる。斜面部は卵形、急で中高。上縁は背面と角をなし、小顆粒列と剛毛をそなえる。後側角は竜骨状に縁取られる。後縁は半楕円形に湾入し、その両側は長三角形に後下方へ突出する。表面は上方に 3 条の点刻と剛毛をそなえる。中央の下方には強大な突起をそなえ、その先端は 2 分岐し微毛をそなえる。上方の分岐は大きく、内上方に湾曲し、先端は鋭い。下方の分岐は外下方に突出する。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Webbia pado SAMPSON

SAMPSON, 1922, Ann. Mag. Nat. Hist., (9)10 : 150

体長 2.2~2.4 mm。長さは幅の約 $3\frac{3}{7}$ 倍。黄褐色。頭部、前胸背、翅鞘基部と斜面部は赤褐色。複眼は黒色。翅鞘は半透明。光沢は強い。

頭部は中高、中央縦線をそなえる。表面は鮫肌状、下方は細かく粗造、その上方には浅い点刻状の印刻をそなえる。

前胸背はほぼ円筒形，前方でわずかに傾斜する。長さは幅の約 $1\frac{2}{7}$ 倍。側縁はわずかに前方に広がる。後側角は丸まる。前側角は強く丸まる。前縁は一直線で中央がわずかに凹み，側方は丸まる。瓦状片は細かく，前方 $1/3$ よりやや後方まで分布する。後方は細かい鮫肌状，微細な点刻を疎にそなえ，前方，側方には剛毛を生ずる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{8}{9}$ 倍。基縁の後方には横隆起線をそなえる。側縁はわずかに後方に広がる。点列部は狭く，疎な小点刻列からなる。第1点列部は後方で凹む。列間部は広く，隆起せず不明瞭な点刻をそなえる。斜面部は卵形，やや急でわずかに中高。上縁は背面と角をなし，側縁と共に小顆粒列をそなえる。後側縁は竜骨状に縁取られる。後縁はほぼ正三角形の扁平な突起をそなえ，後下方に突出する。この突起間は三角形に湾入し，その奥はさらに半楕円形に凹む。斜面部の中央のやや下方にはハの字形の扁平な突起をそなえ，この先端は広がり，両端は鋭く尖る。突起より上方の表面には小顆粒と剛毛列をそなえるが，下方は平滑となる。

寄生樹種：セラヤ。

分 布：ボルネオ。

Webbia spinipennis SCHEDL

SCHEDL, 1970, Kontyû, 38 : 360

体長 2.2~2.3 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘の後方は暗褐色。光沢は強いが翅鞘の後方では光沢を欠く。

前胸背の長さは幅よりわずかに短い。側縁はかすかに丸まり，前方で徐々に丸まり前縁に連なる。前縁は丸まり瓦状片をそなえる。背面は中央で隆起し，前方は傾斜する。瓦状片は中央より前方に分布し，細かく疎で前方のものは大きくなる。後方は鮫肌状，点刻は非常に細かい。剛毛は全体に生ずるが，背面基方のものは短くなる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。基部は竜骨状をなす。側縁は後方に広がり，背面の光沢を欠く付近から狭まる。点列部は狭く，ほとんど凹まず，微毛の生えた小点刻の列からなる。列間部は広く，不規則な細点刻と短剛毛をそなえる。斜面部近くは，不規則な小顆粒をそなえ，その間隙は鮫肌状をなす。斜面部はほぼ円形で急，中央の下方がやや中高，その上方は合合線に沿ってわずかに凹む。周辺は片側に 13 個の円錐形の突起と黄色の密な剛毛で縁取られる。表面は円形の鮮やかな黄褐色の鱗毛が密生し地肌は見えない。中央より下方には不規則な 4~5 個の円錐形の突起が現れる。

寄生樹種：M. L. H. 材。

分 布：ボルネオ。

Webbia orbicularis SCHEDL

SCHEDL, 1970, Kontyû, 38 : 361

体長 1.6~1.7 mm。長さは幅の約 $3\frac{3}{8}$ 倍。暗黄褐色。頭部，斜面部は暗褐色。複眼は黒色。光沢はやや強い。

頭部は中高，細い中央縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状，微細な点刻をそなえる。

前胸背は円筒形で前方はゆるく傾斜する。長さは幅の約 2 倍。基縁はほとんど直線。後側角は丸まる。前側角は強く丸まり，前縁はほぼ一直線，側方で前側角に連絡する。瓦状片は細かく前方 $1/3$ に分布す

る。点刻は細かく側方でわずかに認められる。剛毛は前方，側方に生ずる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 2 倍。基縁は縁取られる。側縁はほとんど平行。点列部は狭く凹まず，非常に疎な小点刻よりなる。列間部は広く隆起せず，細かい鮫肌状，斜面部近くで粗造となる。斜面部は卵形，やや急で下方は中高，上縁を除き角ばる。上縁，側縁は微小顆粒をそなえる。表面は 4 条の凹凸のある縦隆起をそなえる。内方のものは下方で広がり高まる。これらの間室は鮫肌状。側縁，後縁と隆起線には短毛を生ずる。

寄生樹種：セラヤ。

分 布：ボルネオ。

Webbia dentatus EGGERs

EGGERs, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 108

体長 2.8~3.1 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。赤褐色ないし黒色。光沢はやや強い。

頭部は中高，中央縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状，細かい点刻をそなえるが，上方のものは大きくなる。

前胸背はほぼ円筒形で前方は傾斜する。長さは幅よりわずかに短い。基縁は 2 波状をなす。側縁はほぼ平行かわずかに前方に広がる。前側角は弱く丸まる。前縁はわずかに丸まる。瓦状片は細かく，後方では細かい顆粒に変わる。後方は微細な鮫肌状で点刻は非常に小さいがやや密。前方には短毛を生ずる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。側縁は中央部までほぼ平行し，その後わずかに深まる。点列部は狭く，凹まず，小点刻列からなるが，列間部の点刻とほぼ同じ大きさであるため不明瞭。列間部は幅広く隆起せず，不規則で密な点刻をそなえる。斜面部の前方は印刻され，光沢を欠き粗造，毛の生えた小顆粒突起をそなえる。列間部は鈍い瘤起となって終わる。斜面部はほぼ円形，急で平坦。周辺は片側に 9 個の瘤をそなえる。表面は鮫肌状，光沢を欠き短毛を生ずる。会合線の両側には連続した瘤起よりなる隆線と，その外方には 2 条の瘤起列をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Webbia 30-spinatus SAMPSON

SAMPSON, 1922, Ann. Mag. Nat. Hist., (9)10 : 149

体長 2.7~2.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{7}{8}$ 倍。黄褐色。頭部，前胸背，翅鞘斜面部は暗褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は幅広くやや中高，中央縦線をそなえる。表面は鮫肌状，明瞭な点刻をそなえる。

前胸背はほぼ円筒形，前方は傾斜する。長さは幅の約 $1\frac{1}{9}$ 倍。基縁はほぼ一直線。側縁はわずかに前方に広がる。後側角は角ばる。前側角は強く丸まる。前縁は中央で凹む。瓦状片は細かく，前縁のものは大きい。後方は細かく鮫肌状。点刻は細かいが明瞭でやや密，前方，側方に大きくなる。前方，側方には短毛をそなえる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{5}{9}$ 倍。側縁は後方にわずかに広がる。点列部は狭く凹まず，列間部の点刻とほぼ同じ大きさの点刻をそなえるため不明瞭。列間部は幅広く隆起せず，不規則で密な点刻をそなえる。斜面部は円形で急，ほぼ平坦，周辺には片側に 14 個の刺

をそなえ、上方の刺は尖り、下方の刺は鈍くなる。表面は鮫肌状、光沢を欠き、会合線両側には中央部が隆起した幅広い竜骨状の突起をそなえ、その外方には3条のつぶれた瘤起列とその外方に同様な瘤起を散在させる。

寄生樹種：プジック，マラヤ材，メランティ。

分 布：ボルネオ，カンボジア。

Arixyleborus HOPKINS 属

約 30 種が東洋区から記載されているが、輸入材からは 7 種が同定されている。

種 へ の 検 索 表 (雌)

1. 翅鞘斜面部の後側縁は竜骨状に縁取られる。…………… 2
 - 翅鞘斜面部の後側縁は縁取られず、丸まる。…………… 3
2. 体は太短く、長さは幅の約 $2\frac{3}{4}$ 倍。前胸背は太短く、前縁は強く丸まり中央が突出する。翅鞘の点列部は背面中央から幅広く深まり鮫肌状をなし、列間部は背面中央から狭まり高く隆起する。斜面部は翅鞘の中央から始まり、列間部は強く隆起し明瞭、点刻を欠き鮫肌状。体長は 2.0~2.5 mm。…………… *Arixyleborus subsimilis* SCHEDL
 - 体は細長く、長さは幅の約 3 倍。前胸背は細長く、前縁はゆるく丸まる。翅鞘の点列部は後方 1/2 がやや深い粗大な点刻の列となり、列間部は後方で弱く高まる。斜面部は翅鞘の後方 1/3 に位置し、列間部はやや強く隆起し、比較的不明瞭、粗大な浅い点刻をそなえる。体長は 1.7~1.9 mm。…………… *Arixyleborus mediosextus* (EGGERS)
3. 翅鞘の列間部は基部を除き深い条溝となる。斜面部の列間部は 1 列の顆粒をそなえる。…………… 4
 - 翅鞘の列間部は条溝をなさず、背面で短い狭い条溝をなしても斜面部では条溝とならない (*A. granulifer*)。斜面部は不規則な顆粒を散在させる。…………… 5
4. 体は太く、長さは幅の約 $2\frac{3}{4}$ 倍。斜面部の中央の列間部は鱗毛をそなえる。側方の列間部には弱い突起列をそなえ、このため側縁は上方から見ると細かい鋸歯状となる。体長は 1.7~1.8 mm。…………… *Arixyleborus imitator* (EGGERS)
 - 体は細長く、長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。斜面部の中央の列間部は細かい鱗毛状の剛毛をそなえる。側方の列間部には尖った突起列をそなえ、このため側縁は上方から見ると荒い鋸歯状をなす。体長は 1.6~1.8 mm。…………… *Arixyleborus rugosipes* HOPKINS
5. 体は大きい (2.7~2.8 mm)。翅鞘の列間部は背面中央において凹む。斜面部には列状に並んだ大きな瘤起と散在した小顆粒をそなえる。…………… *Arixyleborus granifer* (EICHHOFF)
 - 体は小さい (1.8~1.9 mm)。翅鞘の列間部はほぼ均一に弱く凹む。斜面部にはほぼ同じ大きさの散在した小顆粒をそなえる。…………… 6
6. 体は太く、長さは幅の約 $2\frac{2}{3}$ 倍。翅鞘の後縁は弱く丸まる。斜面部は中央部の後方から始まり急。体長は 1.8~1.9 mm。…………… *Arixyleborus granifer* (EGGERS)
 - 体は細長く、長さは幅の約 $2\frac{1}{4}$ 倍。翅鞘の後縁は強く丸まる。斜面部は後方 1/3 にあり、ゆるやか。体長は 1.8~1.9 mm。…………… *Arixyleborus hirusutulus* SCHEDL

種 の 記 載 (雌)

Arixyleborus subsimilis SCHEDL

SCHEDL, 1970, Kontyû, 38 : 362

体長 2.0~2.2 mm。長さは幅の約 $2\frac{2}{7}$ 倍。赤褐色。触角、肢は黄褐色。光沢は強い。

頭部は中高、前顔の上方で横に凹む。表面は鮫肌状、下方に微小顆粒と密な剛毛をそなえる。

前胸背は前半が傾斜し、長さは幅の $1\frac{1}{9}$ 倍。側縁はほぼ平行し、前方、後方は弱く丸まる。前縁は中央で強く丸まり約 6 個の強い瓦状片をそなえる。瓦状片はほぼ前半部に分布し、前方のものは大きくなる。後半は鮫肌状で細かいやや密な点刻をそなえる。前縁には短毛をそなえるが他は無毛。小楯板は大きく、やや三角形に近い。翅鞘は前胸背と等幅、長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。側縁は斜面部の中央まで平行し、その後やや強く丸まり、中央部でくびれる。基部の後方はやや隆起し、点刻は不規則で、この後方から点列部が徐々に深く、幅広くなる。列間部は強く隆起し、後方に狭まり鮫肌状。斜面部は中央より前方から始まり、ややゆるやかでわずかに中高。後側縁は竜骨状に縁取られる。点列部は上方に深く、下方に浅く凹み、鮫肌状で一般に後方に狭まる。列間部は上方に強く、下方に弱く隆起し、小顆粒をそなえるが、下方のものは小さくなる。不規則な短剛毛が生ずる。

寄生樹種：エリマ。

分 布：モルッカ諸島、ニューブリテン、ソロモン諸島。

Arixyleborus mediosextus (EGGERS)

EGGERS, 1922, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 215

体長 1.7~1.9 mm。長さは幅の約 3 倍。黒褐色。触角、肢、体下面は黄褐色。光沢はやや強い。

頭部は中高、前顔の上方で横に凹み、不明瞭な縦隆起線をそなえる。表面は小顆粒と剛毛をそなえる。

前胸背は円筒形で前方 $\frac{1}{3}$ が傾斜する。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は後方 $\frac{2}{3}$ が平行し、前縁に連なる。前縁は中庸に丸まり、瓦状片によって細かい波状となる。瓦状片はほぼ前方 $\frac{1}{3}$ にあり、前方のものは大きくなる。点刻は細かく浅く、その間隔は鮫肌状、小楯板はやや小さく、半円形ないし三角形。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。側縁は斜面部中央まで平行し、その後急に丸まる。後縁はほぼ三角形。点列部は狭く、やや大きく疎な点刻からなり、後方で狭く凹む。列間部は平坦で鮫肌状、点刻と剛毛を欠き、後方で隆起し、小顆粒と不規則な剛毛をそなえる。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ にあり、急に傾斜し、後側縁は波状の竜骨状となる。点列部はやや幅広く凹む。列間部は狭く隆起し、巻いた短毛を密にそなえる。

寄生樹種：ラワン、メランティ、カンボジア材。

分 布：カンボジア、マラヤ、スマトラ、セイロン。

Arixyleborus imitator (EGGERS)

EGGERS, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 105

体長 1.7~1.8 mm。長さは幅の $2\frac{3}{7}$ 倍。赤褐色ないし暗褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高、前顔の上方に横の凹みをそなえる。表面は鮫肌状、下方に細かい点刻と剛毛をそなえる。

前胸背は中央から前方に傾斜する。長さは幅よりわずかに大きい。側縁はわずかに丸まり、前方で弱く丸まり前縁に続く。前縁は強く丸まり、瓦状片によって細かい波状となる。瓦状片は前半に分布し、前方に大きくなる。その後方は鮫肌状でほとんど無点刻、短い剛毛をやや密にそなえる。小楯板は大きく半円形。翅鞘は前胸背と等幅かわずかに狭い。長さは幅の約 $1\frac{1}{3}$ 倍。側縁は基方 $\frac{2}{3}$ がわずかに後方に広がり、その後丸く狭まり、鋭い鋸歯状をなす。後縁は強く丸まり、中央で突出する。背面は基方に不規則で密な点刻と短い剛毛をそなえる。その後方の点列部はやや幅広く深く凹み、点刻は不明瞭。列間部は後方に徐々に隆起し、粗造で顆粒と不規則な短い剛毛をそなえるが後方では1列となる。斜面部は中央の少し後方から始まり、やや中高。点列部は背面より狭くかつ浅くなる。列間部はやや狭く、顆粒列と剛毛列をそなえ、下方の剛毛は幅広く鱗毛状となる。第4列間部は途中で消失し、第5列間部は第3列間部と合流し、第6、7列間部は下方で曲がる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン、ボルネオ、モルッカ諸島。

Arixyleborus rugosipes HOPKINS

HOPKINS, 1915, U. S. Dep. Agr., Off. Secr., 99 : 59

体長 1.6~1.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。黒色。触角、肢、前胸背と腹部下面は黄褐色。翅鞘の大半は光沢を欠く。

頭部は中高、前顔の上方に横の凹みをそなえる。表面は鮫肌状、下方に浅く大きい点刻と剛毛をそなえる。

前胸背はほぼ円筒形、前方は傾斜する。長さは幅の約 $1\frac{1}{5}$ 倍。側縁はわずかに前方に広がる。前側角は丸まり、徐々に前縁に連なる。前縁は強く丸まり、瓦状片によって波状となる。瓦状片は小さく、前方 $\frac{1}{3}$ より後方まで分布する。その後方は微細に点刻され、鮫肌状。周辺の瓦状片部には細かい剛毛をそなえる。小楯板は大きく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに狭い。長さは幅の約 $1\frac{3}{5}$ 倍。側縁は前方は $\frac{2}{3}$ がわずかに後方に狭まり、その後ゆるく後方に丸まり、瘤起によって鋸歯状をなす。後縁は強く丸まり、中央部で突出した形となる。背面の基部は不規則に細かく点刻され、その後方の点列部は狭いが深く凹み点刻は不明瞭。列間部は後方に徐々に隆起し、微細な鮫肌状、光沢を欠き、不規則な剛毛と後方に密な顆粒をそなえる。斜面部は後方約 $\frac{1}{3}$ に位置し、中高。点列部は背面と同様であるが、列間部は狭まり、顆粒列と密な幅広い黄金色の剛毛をそなえる。

寄生樹種：アピトン、セラヤ、カプール、ブジック。

分 布：カンボジア、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ、セイロン、セレベス、モルッカ諸島、オーストラリア。

Arixyleborus granifer (EICHHOFF)

EICHHOFF, 1879, Ratio, descriptio, emendatio eorum Tomicinorum, p. 502

体長 2.7~2.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{4}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色、体下面、触角、肢は黄褐色。光沢はやや弱い。

頭部は中高、上方に不明瞭な縦隆起線をそなえる。表面は小顆粒と鮫状の短い隆起をそなえ、短毛を生

ずる。

前胸背の長さは幅よりわずかに短い。側縁は前方にわずかに広がり、弱く丸まって前縁に連なる。前縁は強く丸まり、瓦状片によって鋸歯状をなす。瓦状片は前半に分布し、前方のものは大きくなる。その後方は微細な鮫肌状をなし点刻を欠く。小楯板は大きく半円形。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{2}{7}$ 倍。側縁はほとんど平行し、後方 $1/3$ から徐々に丸まり後縁となる。後縁はやや弱く丸まり、中央部が少し突出したように強く丸まる。背面の基部後方はやや隆起し、点列部はわずかに凹み、細かい点刻列からなり、列間部は不規則に細かく点刻され、その後方は横に圧せられる。点列部は深く凹むが後方では浅くなる。列間部は細かく粗造、やや疎で大きな顆粒列をそなえ、不規則な剛毛を生ずる。斜面部は翅鞘の中央部より後方にあり、やや中高。第 2 列間部は中央より下方で凹む。第 1 点列部は弱く凹む。列間部は鮫肌状をなした小顆粒を密にそなえ、長剛毛と短剛毛を生じ、中央部を除き大きな顆粒列をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：ビルマ、ボルネオ、マラヤ。

Arixyleborus granulifer (EGGERS)

EGGERS, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 206

体長 1.8~1.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{2}{7}$ 倍。黒褐色ないし黒色。触角、肢は黄褐色。光沢はやや弱い。

頭部は中高、前顔の上方に横の凹みと明瞭な中央縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状で小顆粒を疎にそなえる。

前胸背の前半は傾斜する。長さは幅とほとんど等しい。側縁はわずかに丸まり、前方は徐々に前縁に連なる。前縁は強く丸まり瓦状片によって荒い鋸歯状となる。瓦状片は前半に分布し、前方のものは大きくなる。後方は鮫肌状で不明瞭に点刻される。全体に剛毛をそなえるが、前方、側方のものは長い。小楯板は大きく半円形。翅鞘は前胸背よりかすかに狭い。長さは幅の約 $1\frac{2}{9}$ 倍。側縁は中央の少し後方までは平行し、その後丸く狭まる。後縁はやや弱く丸まり突起によって弱い鋸歯状となる。点列部は不明瞭、全体は粗造で小顆粒を不規則に密布し、これは後方で大きくなる。不規則な剛毛を生ずる。斜面部は翅鞘の中央から始まり、わずかに中高、不規則な小顆粒をそなえ粗造、剛毛をやや密にそなえるが中央部のものは鱗毛に変わる。

寄生樹種：ラワン、メランティ。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、セイロン、モルッカ諸島。

Arixyleborus hirusutulus SCHEDL

SCHEDL, 1969, Kontyû, 37 : 212

体長 1.8~1.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{4}$ 倍。黒褐色。複眼は黒色。触角、肢は黄褐色。光沢はやや強い。

頭部はやや中高、前顔の上方は横に凹み、不明瞭な縦隆起線をそなえる。表面は剛毛と下方に浅く細かい点刻をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{9}$ 倍。側縁は前方に広がり、前方は弱く丸まり前縁に連なる。前縁は中央部で強く丸まり、瓦状片によって細かい波状となる。瓦状片は中央の後方から前方に分布し、前方のものは大

きくなる。後方の点刻は非常に細かい。全面に剛毛をそなえるが、前方、側方のものは長い。小楯板はやや大きく半楕円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{4}{5}$ 倍。側縁は前方 $\frac{1}{3}$ が平行し、その後わずかに後方に狭まり、後方 $\frac{1}{4}$ は徐々に丸まり後縁に連なる。後縁は強く丸まる。点列部は狭く凹まず、細かいやや疎な点刻列からなる。列間部は幅広く平坦で不規則な微細点刻と短毛をそなえる。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ にあり中高。第 1, 2 点列部は下方で弱く凹み、大きな点刻からなる。列間部は小顆粒と背面からやや密な長い剛毛をそなえる。

寄生樹種：ラワン、セラヤ。

分 布：フィリピン、ボルネオ。

Xylosandrus REITTER 属

Xyleborus EICHHOFF に近似の属で、輸入材からは 2 種が発見されている。

種 へ の 検 索 表（雌）

1. 斜面部は翅鞘の中央より後方から始まる。前頭の中央縦線は幅広く隆起する。前胸背の隆起の頂上は中央より後方に位置する。体長は 2.0~2.3 mm。……………*Xylosandrus germenus* (BLANDFORD)
- 斜面部は翅鞘の基方 $\frac{1}{3}$ から始まる。前頭の中央縦線は幅狭く線状に隆起する。前胸背の隆起の頂上は中央より前方に位置する。体長は 2.0 mm。……………*Xylosandrus derupteterminatus* SCHEDL

種 の 記 載（雌）

Xylosandrus germanus (BLANDFORD)

BLANDFORD, 1894, Trans. Ent. Soc. London, 1894 : 104

体長 2.0~2.3 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{8}$ 倍。黒褐色。複眼は黒色。触角、肢は黄褐色。体下面は暗赤褐色。光沢は強い。

頭部は中高、中央縦線に沿って弱く隆起する。表面は鮫肌状、下方に顆粒を、上方に小点刻をそなえる。剛毛は疎。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{4}{5}$ 倍。側縁は前方にゆるく狭まり、その後徐々に丸まり、前縁に連なる。前縁は均一に丸まり、約 8 個の突起をそなえる。これらの側方のものは小さくなる。背面は隆起し、中央の後方が頂上となる。瓦状片は前方、側方に大きくなる。点刻は浅く細かい。全体に剛毛をそなえるが、周辺部のものは長く、基部中央のものは密になる。小楯板はやや大きく半円形。翅鞘は前胸背より少し幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は翅鞘長の基方から $\frac{1}{3}$ で最も幅広く、前後に弱く狭まり、後縁近くで急に狭まる。後縁はゆるく丸まる。背面は基部から後方に中高となる。点列部は狭く凹まず疎な点刻をそなえる。列間部は広く隆起せず、点列部より密で小さい点刻と短毛をそなえるが、剛毛は後方で長くなる。斜面部は中央部の後方から始まり、ややゆるやかでわずかに中高。後側縁は鋭く竜骨状に縁取られる。点列部はかすかに凹み、点刻は背面より密で大きい。列間部の点刻は下方で小顆粒に変わり、長い剛毛を生ずる。

寄生樹種：クスノキ。

分 布：日本、支那（台湾、東北地方）、朝鮮、ヨーロッパ、アメリカ。

Xylosandrus derupteterminatus SCHEDL

SCHEDL, 1964, Reichenbachia, 3 : 213

体長 2.0 mm。長さは幅の約 $1\frac{8}{9}$ 倍。黒褐色。複眼は黒色。体下面は赤褐色ないし黄褐色。光沢は強い。

頭部はやや中高、前顔上方には横の凹みをそなえ、細い中央縦線をそなえる。表面は鮫肌状、中央部には粗大な浅い点刻をそなえ、下方は細かく粗造となる。剛毛は疎。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{8}{9}$ 倍。側縁はやや強く丸まり、前方は徐々に丸く狭まり前縁に連なる。前縁はやや強く丸まり、瓦状片によって波状となる。表面は中高、頂上は中央より前方に位置する。瓦状片は前方、側方で大きくなる。点刻は浅く細かい。剛毛は全体に生じ、周辺のは長く、基部中央では密となる。小楯板は大きく半円形。翅鞘は前胸背より幅広く、長さは幅よりわずかに短い。側縁はその中央部で最も幅広く、前後に弱く狭まる。後縁は弱く丸まる。背面は基部より後方に中高となる。点列部は狭く、*X. germanus* より密な点刻からなる。列間部は広く、隆起せず不明瞭、側方のははなはだ疎な点刻をそなえる。斜面部は基方 $\frac{1}{3}$ からゆるく始まり、その後やや急でわずかに中高。後側縁は鋭く竜骨状に縁取られる。点列部は狭く、第 1, 2 列間部は浅く凹み、明瞭な点刻からなる。列間部はやや広く、ほとんど隆起せず、上方から長い剛毛を生じた小顆粒列をそなえる。

寄生樹種：インドネシア材。

分 布：セレベス、モルッカ諸島。

Xyleborus EICHHOFF 属

この属は 1,000 種以上の記載種があり、世界中の森林に分布するが、熱帯に多い。輸入材からは 53 種が同定されている。

種への検索表 (雌)

1. 翅鞘斜面部は押圧され凹む。後縁は湾入部をそなえる。*X. pumilus* では後縁が直線かわずかに凹む。…………… 2
- 翅鞘斜面部は普通中高、上方で押圧されても下半部では中高となる。斜面部が半円形に押圧される場合 (*X. eximius*) には腹部が翅端を越えて伸びるため、体の末端はくびれ波状となる。…………… 11
2. 翅鞘斜面部はほぼ全体が平坦に押圧され、側方はほとんど隆起しない。…………… 3
- 翅鞘斜面部は深く押圧され、側方は強く隆起する。…………… 5
3. 一体は大きい (2.2 mm 以上)。翅鞘の後縁の両側は丸く突出する。点列部の点刻は大きく、列間部の点刻は明瞭。…………… 4
- 一体は小さい (1.9~2.3 mm)。翅鞘の後縁は突出せず、先端はほぼ一直線。点列部の点刻は小さく、列間部の点刻は不明瞭。…………… *Xyleborus pumilus* EGGERS
4. 一体は大きい (2.6~2.9 mm)。翅鞘は前胸背の 1.5 倍より長い。斜面部の剛毛は少ない。…………… *Xyleborus amplexicauda* HAGEDORN
- 一体は小さい (2.2~2.4 mm)。翅鞘は前胸背の長さの約 1.4 倍。斜面部の剛毛は多い。…………… *Xyleborus persimilis* EGGERS

5. 前胸背は細長く、長さは幅の約 $1\frac{2}{5}$ 倍以内。斜面部は翅鞘の中央より後方から始まる。…………… 6
 前胸背は非常に細長く、長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。斜面部は翅鞘のほぼ中央から始まり、極端に細長い。前胸背後半の点刻は細かい。斜面部の後縁は弱く波状をなして凹む。体長は約 2.5 mm。……………
 …………… *Xyleborus vestitus* SCHEDL
6. 体は大きく (2.2 mm 以上)。翅鞘斜面部後縁は半円形ないし、それ以上に深く凹む。…………… 7
 体は小さい (2.1~2.2 mm)。翅鞘斜面部後縁はわずかに波状に凹む。……………
 …………… *Xyleborus cylindromorphus* EGGERS
7. 翅鞘斜面部の湾入部の両側は後方に突出する。側縁は先端の鈍い細かい鋸歯状をなす。…………… 8
 翅鞘斜面部の湾入部の両側は突出せず、丸まるか単に内方で角ばる。…………… 9
8. 体は大きい (2.5~2.9 mm)。斜面部側方の大きな 2 突起は下方のものが大きい。前胸背の前縁はより強く丸まる。…………… *Xyleborus fastigatus* SCHEDL
 体は小さい (2.4 mm)。斜面部側方の大きな 2 突起はほぼ同じ大きさ。前胸背の前縁は強く丸まる。…………… *Xyleborus laticornis* SCHEDL
9. 前胸背の点刻は大きく明瞭。翅鞘斜面部の後縁はほとんど単純に丸まる。…………… 10
 前胸背の点刻は非常に細かい。翅鞘斜面部の後縁は顆粒状小突起をそなえ波状となる。体長は 2.2~2.6 mm。…………… *Xyleborus amphicranulus* EGGERS
10. 体は大きい (3.3~4.2 mm)。翅鞘斜面部はやや丸く、長さは幅より小さく、後方の湾入部の両側には小突起をそなえる。…………… *Xyleborus emarginatus* EICHHOFF
 体は小さい (2.5~2.8 mm)。翅鞘斜面部は細長く、長さは幅より大きく、後方の湾入部の両側には小顆粒をそなえる。…………… *Xyleborus fallax* EICHHOFF
11. 翅鞘斜面部は背面から急に截断され円形、その周辺は低いが竜骨状に縁取られ、ツヅミ状となる。体長は 4.4 mm。…………… *Xyleborus concitatus* SCHEDL
 翅鞘斜面部は背面から徐々に傾斜し、かりに急に傾斜することがあっても (*X. obliquesectus*) 長形で上縁は竜骨状に縁取られない。…………… 12
12. 小楯板は三角形ないし半円形で大きく背面より明瞭に認められる。…………… 13
 小楯板は背面から見えないか、細長く竜骨状になるかあるいは細長い楕円形となる。…………… 48
13. 翅鞘の背面は不規則に点刻されるか、点刻をほとんど欠き明瞭な列とならない。…………… 14
 翅鞘の背面は明瞭な点刻列をそなえる。…………… 16
14. 体は大きい (4.8~5.0 mm)。翅鞘の背面には寝た短い剛毛を密にそなえる。斜面部は基方 $1/3$ から徐々に始まり、弱く圧せられる。前胸背の側縁は基方 $1/4$ から徐々に狭まり前縁へと移行する。…………… *Xyleborus punctatissimus* EICHHOFF
 体は小さく (4.4 mm 以下)。翅鞘の背面には立った長い剛毛を疎にそなえる。斜面部は中央部から始まり、少なくとも弱い中高。前胸背の側縁は弱い弧状をなしても、ほぼ平行し、前方で前縁に移行する。…………… 15
15. 体は大きい (4.0~4.4 mm)。翅鞘斜面部は中央部から急に傾斜し、光沢があり、点刻列と列間部に小顆粒列をそなえる。…………… *Xyleborus obliquesectus* EGGERS
 体は小さい (2.0~2.6 mm)。翅鞘の斜面部は中央から徐々に傾斜し、光沢を欠き、点刻列はなく

- 不規則な顆粒を密にそなえる。……………*Xyleborus semiopacus* EICHHOFF
16. 翅鞘背面の列間部には不規則で密な顆粒をそなえる。体長は 3.9~4.4 mm。……………
 ……………*Xyleborus ursulus* EGGERS
 — 翅鞘背面の列間部には点刻をそなえるか、1 列に並んだ疎な顆粒をそなえる。……………17
17. 前胸背はほぼ半球形ないし矩形。幅は長さより大きいと同じ。……………18
 — 前胸背は細長く、幅は長さより小さい。……………34
18. 翅鞘斜面部の後側縁は丸まり、竜骨状突起を欠く。……………19
 — 翅鞘斜面部の後側縁は角ばり、竜骨状突起となる。……………21
19. 体は大きい (3.9~4.2 mm)。翅鞘の列間部の印刻は浅く不明瞭であるが大きく、点列部のものよりわずかに小さい。斜面部の突起の基部は高まり、左右の突起間は低い。……………
 ……………*Xyleborus subcostatus* EICHHOFF
 — 体は小さい (3.6 mm 以下)。翅鞘の列間部は小顆粒列をそなえる。斜面部の突起の基部はほとんど高まらず、左右の突起間は点列部を除き低くならない。……………20
20. 体は大きい (3.1~3.6 mm)。翅鞘の側縁は後方に広がる。斜面部上方の点列部の剛毛は非常に短く不明瞭。列間部の剛毛はより密。……………*Xyleborus bidentatus* (MOTSCHULSKY)
 — 体は小さい (2.3~2.5 mm)。翅鞘の側縁はほとんど平行する。斜面部上方の点列部の剛毛は短いが明瞭。列間部の剛毛はやや疎。……………*Xyleborus costatomorphus* SCHEDL
21. 翅鞘斜面部は非常に密な短い鱗毛におおわれる。体長は 2.6~2.9 mm。……………
 ……………*Xyleborus concisus* BLANDFORD
 — 翅鞘斜面部は鱗毛を欠き、剛毛をそなえる。……………22
22. 翅鞘斜面部は不規則に点刻され、点列部を欠くか、あるいは点列部が不規則な約 2 列の点刻からなる。一般に 1 列の種類でも少なくとも第 1 点列部は中央で不規則な 2 列となる。……………23
 — 翅鞘斜面部は 1 列の点刻からなる点列部をそなえる。……………27
23. 翅鞘の第 2 列間部は基方 1/3 から強く隆起して後側方に曲がり、斜面部上側縁にかけ数個の大きな歯状突起をそなえ、その内方は半円溝状に圧せられる。体長は 6.1~6.8 mm。……………
 ……………*Xyleborus sexspinus* SCHEDL
 — 翅鞘の第 2 列間部は他の列間部と同様にわずかに隆起し、後側方に曲がらず、かりに曲がったとしても、その内方は凹まず、瘤起をそなえるか、あるいはこれを欠く。……………24
24. 体は大きい (5.6 mm 以上)。翅鞘斜面部の点刻は不規則で列間部は認められない。*X. posticepilosus* では顆粒列によってのみ列間部が認められる。前胸背は短く。幅は長さより大きい。……………25
 — 体は小さい (4.9 mm 以下)。翅鞘斜面部の点刻は点列部を形成し、列間部は認められる。前胸背の幅は長さとはほぼ同じ。……………25
25. 翅鞘斜面部の上半には不規則な瘤起をそなえる。背面の点列部は大きな点刻からなり、強く凹み、第 1 点列部のものは大きく不規則に並ぶ。列間部は弱く隆起する。斜面部下方は会合線に沿って丸く隆起する。体長は 5.9~6.5 mm。……………*Xyleborus pseudopilifer* SCHEDL
 — 翅鞘斜面部の列間部はやや密に並んだ顆粒列をそなえる。背面の点列部は細かい点刻からなり浅く凹み、第 1 点列部のものは他の点列部と同様 1 列に並ぶ。列間部はほとんど隆起しない。斜面部の

- 下方は会合線を中心に縦に強く隆起する。体長は 5.6~6.6 mm。……*Xyleborus posticepilosus* SCHEDL
26. 体は太短く、長さは幅の約 $2\frac{5}{9}$ 倍。翅鞘背面の点列部は細く凹まず、細かい点刻の列からなり、列間部の点刻は点列部のものとはほぼ同じ大きさで基方において不規則となる。複眼間は丸く凹む。斜面部の剛毛は下方で長くなる。体長は 3.3~3.9 mm。……*Xyleborus macropterus* SCHEDL
- 体は細長く、長さは幅の約 $2\frac{1}{9}$ 倍。翅鞘背面の点列部は比較的広く凹み、やや大きな点刻の列からなり、列間部の点刻は点列部のものより小さく 1 列に並ぶ。複眼間は平坦かわずかに隆起する。斜面部の剛毛は下方で長くない。体長は 4.3~4.9 mm。……*Xyleborus pseudomajor* SCHEDL
27. 翅鞘斜面部の第 1 列間部は顆粒をそなえ、第 2 列間部と同じ高さか、わずかに高い。……28
- 翅鞘斜面部の第 1 列間部は顆粒を欠き、第 2 列間部より低い。体長は 3.2~3.3 mm。……*Xyleborus funereus* LEA
28. 体は大きい (3.4 mm 以上) ……29
- 体は小さい (2.8 mm 以下) ……30
29. 翅鞘の背面は基方 $\frac{1}{3}$ が光沢強く、それより後方は光沢を欠く。体長は 4.1~4.3 mm。……*Xyleborus quadraticollis* EGGERS
- 翅鞘の背面はほぼ均一な光沢をそなえる。……31
30. 翅鞘斜面部は光沢強く、列間部の剛毛は長く、列間部の幅より長い。体長は 2.5~2.6 mm。……*Xyleborus velatus* SAMPSON
- 翅鞘斜面部は光沢弱く、列間部の剛毛は短く、列間部の幅より短い。体長は 2.4~2.8 mm。……*Xyleborus noxius* SAMPSON
31. 翅鞘の斜面部は光沢があり、点列部の点刻は背面のものとほぼ同じ大きさで密。第 2 列間部は下方まで顆粒列をそなえる。……32
- 翅鞘の斜面部は光沢を欠き、点列部の点刻は背面のものより大きく疎。第 2 列間部は下方で顆粒列を欠く。体長は 3.4~3.8 mm。……*Xyleborus validus* EICHHOFF
32. 翅鞘は太短く、長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。頭部の正中線は細長く明瞭に隆起し、上方に凹みを欠く。斜面部は翅鞘中央の前から始まり、顆粒は大きい。体長は 3.4~3.8 mm。……*Xyleborus interjectus* BLANDFORD
- 翅鞘は細長く、長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。頭部の正中線は下方に短く、弱く隆起し、上端に凹みをそなえる。斜面部は翅鞘の中央より後方から始まり、顆粒は小さい。……33
33. 翅鞘は前胸背の長さの約 2 倍。背面の点列部は密でほとんど圧せられない。体長は 3.6~4.6 mm。……*Xyleborus destruens* BLANDFORD
- 翅鞘は前胸背の長さの 2 倍より短い。背面の点列部は疎で弱い圧せられる。体長は 4.0 mm。……*Xyleborus procerrimus* SCHEDL
34. 翅鞘斜面部の後側縁は竜骨状に縁取られる。……35
- 翅鞘斜面部の後側縁は竜骨状に縁取られない。……39
35. 翅鞘斜面部は中央近くから徐々に始まる。斜面部は光沢を欠く。体長は 2.3~2.6 mm。……*Xyleborus solomonicus* SCHEDL
- 翅鞘斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ から始まる。*X. similis* を除き斜面部は光沢を有する。……36

36. — 前胸背の側縁は前方で強く丸まり、弱く丸まった前縁に連なる。翅鞘の列間部には明瞭な長い剛毛をそなえる。……………37
 — 前胸背の側縁は前方に徐々に丸く狭まり、側縁前方と前縁は半円形となる。翅鞘の列間部には不明瞭な非常に短い剛毛をそなえる。……………38
37. — 体は一般に大きい (2.1~2.5 mm)。前胸背の基方は光沢が強く滑らかで明瞭な点刻を欠く。翅鞘はやや長く、長さは幅の約 $1\frac{3}{4}$ 倍。第 1 点列部は密な点刻列からなり明らかに凹む。斜面部は翅鞘の後方 $\frac{1}{3}$ にあり、やや急で光沢を欠く。第 1 列間部は中央で広がり、明瞭な円錐形の突起をそなえる。…………… *Xyleborus similis* FERRARI
 — 体は一般に小さい (2.0~2.1 mm)。前胸背の基方は光沢を欠き微細な鮫肌状、点刻は不明瞭。翅鞘はやや短く、長さは幅の約 $1\frac{2}{3}$ 倍。第 1 点列部はやや疎な点刻列からなり、ほとんど凹まない。斜面部は翅鞘中央の後方から始まり、ゆるくかつ光沢が強い。第 1 列間部は中央において広がらず、微小顆粒列のみを有する。…………… *Xyleborus indicus* EICHHOFF
38. — 体は大きい (2.3~2.5 mm)。前胸背の後半は鮫肌状で光沢を欠き、点刻は明瞭。翅鞘背面の点列部の点刻は小さく疎で、それ自体の直径より離れる。…………… *Xyleborus glabratus* EICHHOFF
 — 体は小さい (1.9~2.0 mm)。前胸背の後半は光沢が強く、点刻は不明瞭。翅鞘背面の点列部の点刻は大きく密で、点刻間はそれ自体の直径と同じ。…………… *Xyleborus laevis* EGGERS
39. — 前胸背はほぼ全面に瓦状片をそなえ、基部には小顆粒だけをそなえ点刻を欠く。体長は 2.5~2.7 mm。…………… *Xyleborus satoi* SCHEDL
 — 前胸背は前方に瓦状片をそなえ、後方は小さく不明瞭であっても点刻をそなえ、瓦状片、顆粒を欠く。……………40
40. — 翅鞘の後縁は腹部背板が後方に現れるため、くびれた波状に見える。斜面部は半円形に圧せられ、点刻を欠く。側方は隆起し、上方には長毛を持ち大きく尖った 1 突起と、下方と側方には各々短毛を持った小さい突起をそなえる。体長は 2.7~3.0 mm。…………… *Xyleborus eximius* SCHEDL
 — 翅鞘の後縁は単純に丸まり、腹部背板は現れない。斜面部はほぼ平坦か中高、中央部が縦に圧せられることがあっても必ず点刻をそなえる。……………41
41. — 翅鞘の斜面部は急で、後側縁に尖った数個の突起をそなえる。……………42
 — 翅鞘の斜面部はゆるやかで、後側縁に顆粒状の突起があっても尖った突起を欠く。……………43
42. — 体は大きい (2.4~2.7 mm)。前胸背の後半の点刻は明瞭。翅鞘の後縁は強く丸まる。……………
 ……………… *Xyleborus subagnatus* EGGERS
 — 体は小さい (1.9~2.4 mm)。前胸背の後半の点刻は微細、翅鞘の後縁は弱く丸まる。……………
 ……………… *Xyleborus agnatus* EGGERS
43. — 翅鞘の斜面部の中央は縦に低く、単に下方の会合線に沿った部分だけわずかに隆起し、第 1 列間部は上縁だけに小突起をそなえ、第 3 列間部の中央は明瞭な突起をそなえ、これより外方は明らかに隆起する。体長は 2.2~2.6 mm。…………… *Xyleborus ferrugineus* FABRICIUS
 — 翅鞘斜面部の中央は縦に低くならず、第 2 列間部が部分的に押圧されることがあっても、会合線は弱く隆起し、第 1 列間部は上縁だけでなく 1~2 個の突起をそなえ、第 3 列間部の突起は小さく内方のものと同じか、それより小さく、第 3 列間部より外方はわずかに隆起する。……………44

44. 一 翅鞘斜面部は光沢が強い。……………45
一 翅鞘斜面部は光沢を欠く。前胸背の点刻はやや大きい。斜面部の第2列間部の剛毛は第1, 2列間部のものの1/2~1/3の長さ。斜面部の突起は小さく顆粒状。体長は2.0~2.4 mm。……………
…………… *Xyleborus mascarensis* EICHHOFF
45. 一 翅鞘斜面部の突起はやや大きく、第1, 2列間部は中央でやや圧せられ、その下方は弱く隆起し、第2列間部の剛毛は非常に短いか長くても第1, 3列間部のものの1/3以下。前胸背の点刻は小さく不明瞭。……………46
一 翅鞘斜面部の突起は小さく円錐状ないし顆粒状、第1, 2列間部は均一で中央で圧せられず、第2列間部の剛毛は第1, 3列間部のものの1/2~1/3倍。前胸背の点刻は細かいが明瞭。……………47
46. 一 前胸背はやや細長い。前縁は強く丸まる。側縁は中央部より前方で広がる。翅鞘はやや短く、長さは幅の約1⁷/₉倍。点列部は弱いが明らかに凹む。斜面部の瘤起はより大きく、剛毛はやや短く疎。体長は3.0~3.6 mm。…………… *Xyleborus pfeili* (RATZBURG)
一 前胸背はやや短い。前縁は弱く丸まる。側縁はほぼ中央部で最大幅となる。翅鞘はやや短かく、長さは幅の約1³/₄倍。第1点列部は凹まない。斜面部の瘤起は小さく、剛毛は長く密。翅鞘の後方の黒味をおびた個体が多い。体長は2.5~3.0 mm。…………… *Xyleborus cognatus* BLANDFORD
47. 一 翅鞘の側縁は斜面部の中央まで弱く狭まり、その後急に丸まる。後縁はやや弱く丸まる。背面の点列部はやや強く圧せられ、点刻は大きい。斜面部はやや急。体長は2.4~2.8 mm。……………
…………… *Xyleborus torquatus* EICHHOFF
一 翅鞘の側縁は斜面部の前方から徐々に狭まり、後縁はやや強く丸まる。点列部はわずかに圧せられ、点刻は細かい。斜面部はゆるやか。体長は2.0~2.5 mm。……………
…………… *Xyleborus perforans* (WALLASTON)
48. 一 翅鞘の基縁は会合線部において弧状をなして後方に凹み、その中央には長矩形ないし長楕円形の小楯板をそなえる。……………49
一 翅鞘の基縁は後方に凹まず、両翅鞘はほぼ基縁まで会合し、小楯板は見えない。……………52
49. 一 翅鞘斜面部は後上方に弱い竜骨状の縁取りをそなえ、顆粒を有する。斜面部の第2列間部は凹まず長毛列をそなえ、後縁には突起を欠く。翅鞘会合線両側には楕円形の弱い隆起をそなえる。体長は1.6~1.7 mm。…………… *Xyleborus diversicola* EGGERS
一 翅鞘斜面部は後下方に竜骨状の縁取りを欠き、尖った突起を有する。斜面部の第2列間部は凹み、剛毛列を欠く、後縁には尖った突起をそなえる。翅鞘基部は楕円形の隆起を欠く。……………50
50. 一 体は大きい(2.0~2.4 mm)。翅鞘列間部の顆粒列は第1列間部では中央よりわずかに前方に伸びるが、他のものでは中央より前方に伸びない。…………… *Xyleborus saxeseni* (RATZBURG)
一 体は小さい(1.8 mm 以下)。翅鞘列間部の顆粒列は中央部をこえて前方に伸びる。……………51
51. 一 体は大きい(1.6~1.8 mm)。翅鞘の側縁は後方で強く狭まり、後縁は強く丸まる。斜面部の剛毛は列間部の幅の約2倍、前胸背の後半部はほとんど無毛。…………… *Xyleborus exiguus* WALKER
一 体は小さい(1.4 mm)。翅鞘の側縁は後方で弱く狭まり、後縁は弱く丸まる。斜面部の剛毛はほぼ列間部の幅かそれより少し長い。前胸背の後半部は剛毛をそなえる。…………… *Xyleborus sharpeae* HOPKINS

52. 一 体は大きい (2.2~2.4 mm)。翅鞘の基部会合線の両側には大きな深い凹陷部がある。翅鞘の後方は強く狭まり、先端は鈍いが尖る。前胸背の側縁はほとんど平行し、前縁で急に丸まる。……………
 …………… *Xyleborus subnaevus* SCHEDL
- 一 体は小さい (1.4 mm)。翅鞘の基部には凹陷部を欠く。翅鞘の後方は弱く狭まり、後縁は単純に丸まる。前胸背の側縁は前半から徐々に丸く狭まり前縁となる。…………… *Xyleborus pedellus* SCHEDL

種 の 記 載 (雌)

Xyleborus pumilus EGGERS

EGGERS, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7: 209

体長 1.9~2.3 mm。長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方は横に凹む。表面は微細な鮫肌状、下側方に微細な点刻と剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{3}$ 倍。側縁は前方に広がる。前縁は強く丸まり、瓦状片を欠く。瓦状片は細かく中央より前方に位置し、側方では後方に伸びる。点刻は不明瞭。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりやや広く、長さは幅の約 $2\frac{1}{9}$ 倍。側縁は中央部まで平行し、その後弱く、後縁近くで強く丸まり、後縁は非常に弱く丸まる。点列部は狭く凹まず、やや大きな点刻の列からなる。列間部は弱く隆起し、微細な点刻を疎にそなえる。第 1, 3, 5, 7 列間部の後方と側縁近くは剛毛をそなえる。斜面部は翅鞘の後方ほぼ $1/3$ にあり、ゆるやかに傾斜し、ほぼ平坦で会合線部が弱く隆起する。後側角は波状をなして角ばり剛毛をそなえる。表面はやや光沢が弱く隆起し、微細な点刻を疎にそなえる。第 1, 3, 5, 7 列間部の後方と側縁近くは剛毛をそなえる。斜面部は翅鞘の後方ほぼ $1/3$ にあり、ゆるやかに傾斜し、ほぼ平坦で会合線部が弱く隆起する。後側角は波状をなして角ばり剛毛をそなえる。表面はやや光沢が弱く、上方会合線両側には各 1 個の小突起と中央部両側に円錐形の突起をそなえ、これらの基部は膨れる。

寄生樹種：サバラウンド材。

分 布：インド支那、ビルマ、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ、セイロン。

Xyleborus amplexicauda HAGEDORN

HAGEDORN, 1908, Dtsch. ent. Z., 1908: 9

体長 2.6~2.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{7}{9}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、両複眼間は横に凹み、その下方には短い縦隆起線をそなえる。表面は横凹線の下方に小点刻、小顆粒と剛毛を密にそなえ、上方は鮫肌状でやや大きな点刻をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁は後方に弱く丸く狭まり、前方はまるく狭まり前縁に連なる。前縁は強く丸まり、ほとんど瓦状片を欠く。横隆起は非常に弱く中央より前方にある。瓦状片は細かく、側方では後方まで分布する。点刻は細かく、側方で密になる。瓦状片部、側縁には剛毛を生ずる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに広く、長さは幅の約 $1\frac{4}{5}$ 倍。側縁は中央部までわずかに広がり、その後丸く狭まる。後縁は中央部が浅いが幅広く凹む。湾入部の後側角はゆるい弧状をなす。点列部は狭く凹まず、疎な小点刻の列からなる。列間部は幅広く、点列部のものより小さい疎な点刻の列をそなえる。第 1, 3, 5, 7 列間部と側方には長い剛毛を疎に生ずる。斜面部は翅鞘の中央の少し後方か

ら始まり、ゆるやかに傾斜し、わずかに圧せられる。会合線の両側は縦に凹む。後側縁は竜骨状に縁取られない。側方はわずかに隆起する。点列部は不明瞭で上方第2列間部にあたる所と中央部下方第3列間部か第4にあたる所にそれぞれ基部の膨んだ細い円錐形の突起をそなえる。上縁、側縁、後縁近くには約12個の円錐形小突起をそなえ、これらの突起はいずれも剛毛を有する。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ。

Xyleborus persimilis EGGERS

EGGERS, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 97

体長 2.2~2.4 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く隆起し、縦隆起線を欠き、微細な点刻をそなえるが、上側方では大きく密になる。両複眼を結んだ線より上方はやや隆起が強く鮫肌状をなし、点刻をそなえる。全面に剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。側縁は中央部の後方で最大幅となり、前後に弱く狭まり、前方は徐々に前縁に移行する。前縁は強く丸まり、ほとんど瓦状片を欠く。表面は横隆起を欠く。瓦状片は細かく、中央の前方に分布し、側方は後方まで分布する。点刻は細かいが明瞭で、側方で密になる。前方、側方には剛毛をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{7}{8}$ 倍。側縁はほぼ中央まで平行し、その後ゆるく丸まる。後縁は2波状をなし、中央部は浅く凹む。点列部は狭く凹まず、やや大きい点刻の列からなる。列間部は広く、点列部のものより少し小さい点刻列をそなえる。第1, 3, 5, 7列間部と側方には疎な剛毛列をそなえる。斜面部は翅鞘の中央から徐々に始まり、ゆるやかで、ほぼ平坦に圧せられる。点列部と後側縁の竜骨状突起は欠く。会合線両側には各3個の小円錐形突起をそなえ、その上方、後縁、後縁近くには顆粒状の突起を散布する。これらの突起は剛毛を有する。

寄生樹種：アガティス、ラミン、ラワン、メランティ。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ。

Xyleborus vestitus SCHEDL

SCHEDL, 1931, Ann. Mag. Nat. Hist., (10)8 : 314

体長 2.5 mm。長さは幅の約 $3\frac{4}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔上方は横に凹み、前頭中央部に横隆起をそなえる。表面は鮫肌状で微小顆粒を密にそなえ、剛毛を生ずる。

前胸背は円筒形。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。側縁は前方に広がり、前方は徐々に丸く狭まり前縁に連なる。前縁は強く丸まる。表面は横隆起を欠き、前方約 $\frac{1}{4}$ には細かい瓦状片をそなえる。点刻は細かく側方に認められる。小楯板は小さくほぼ三角形。翅鞘は前胸背よりわずかに狭い。長さは幅の約 $2\frac{1}{7}$ 倍。側縁は平行し、後縁近くで急に丸まる。後縁はほぼ一直線がかすかに凹む。点列部は狭く凹まず、やや大きい点刻の列からなる。列間部はやや広く点刻を欠き、後方、側方には剛毛をそなえる。第1列間部は狭い。斜面部は翅鞘の前方 $\frac{1}{3}$ から会合線両側が凹んだ形で始まり長三角形、強く圧せられるがゆるやか。側方は強く隆起し、各2個の三角形の突起をそなえる。表面は光沢が強く、会合線が細く隆起し、その側方は溝状に浅く凹む。下側方には明瞭な1本の点刻列がある。後側角近くに小顆粒がある。後縁、側隆起上に

剛毛を生ずる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Xyleborus cylindromorphus EGGERS

EGGERS, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 96

体長 2.1~2.2 mm。長さは幅の約 $3\frac{2}{7}$ 倍。赤褐色。複眼と翅鞘後方は暗色。光沢は強い。

頭部は中高、前顔の上方は横に凹み、縦隆起を欠く。両複眼を弧状に結んだ線はわずかに圧せられ、これより下方は微細な点刻と剛毛を有し、上方は鮫肌状。

前胸背の長さは幅の $1\frac{1}{2}$ 倍より少し小さい。側縁は後方に弱く狭まり、前方にやや強く狭まり前縁に連なる。前縁は強く丸まり瓦状片を欠く。横隆起は非常に弱く前方 $1/3$ にある。瓦状片は細かい。点刻は大きく、側方に密になる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{8}{9}$ 倍。側縁は後方にかすかに広がり、斜面部中央から丸まり後縁となる。後縁は浅く弧状に凹み、湾入部の外後角は丸まる。点列部は狭く凹まず、やや大きい疎な点刻の列からなる。列間部は平坦かかすかに隆起し、微細で疎な点刻列をそなえ、側方、後方には剛毛を生ずる。斜面部は翅鞘の後方約 $1/3$ にあり、ゆるやかで周辺は幅狭く隆起する。表面は強く圧せられ、会合線に沿ってわずかに隆起する。やや光沢が弱い。上方会合線両側には顆粒状の小突起と側縁中央部上内方に楔形の太い突起をそなえる。後側部の竜骨状突起は剛毛をそなえる。湾入部の後側部近くに 1 顆粒をそなえる。

寄生樹種：ラワン、カプール。

分 布：フィリピン、ボルネオ、スマトラ。

Xyleborus fastigatus SCHEDL

SCHEDL, 1935, Philip. Jour. Sci., 56 : 402

体長 2.5~2.9 mm。長さは幅の約 $3\frac{1}{4}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高、前顔の上方は凹み、縦隆起線を欠く。表面は鮫肌状、微細な点刻と剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{6}$ 倍。側縁は後方にわずかに狭まり、前方は丸く狭まり、ゆるやかに前縁と連らなる。前縁は強く丸まり、亜前縁に瓦状片をそなえる。背面は横隆起を欠く。瓦状片は細かい。点刻は微細であるが側方のものは大きくなる。前方、側縁には剛毛を生ずる。小楯板は小さく半楕円形。翅鞘は前胸背よりかすかに幅広い。長さは幅の約 2 倍。側縁は剛毛をそなえ、中央部までわずかに広がり、その後かすかに狭まり、斜面部の中央から丸く狭まり鋸歯状となる。後縁は釣鐘形に深く凹む。湾入部の外側角は角ばる。点列部は狭く凹まず、小さな点刻を疎にそなえる。列間部は幅広くほぼ平坦、点列部より疎な小点刻をそなえる。後方には直立した剛毛を疎生する。第 1 列間部は後方に顆粒をそなえる。斜面部は翅鞘の中央の少し後方から始まり、非常にゆるやか。表面は圧せられ鮫肌状、会合線に沿って弱く隆起する。後側縁は竜骨状に隆起し鋸歯状。表面は点列部を欠く。上方第 2, 3 列間部にあたる所に第 1 歯、中央部上側方に第 2 歯をそなえ、いずれも強大な長円錐形。第 2 歯は最大。湾入部の先端近くに円錐形の小突起をそなえる。周辺部には剛毛をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン、ニューギニア。

Xyleborus laticornis SCHEDL

SCHEDL, 1969, Kontyû, 37 : 212

体長 2.4 mm。長さは幅の約 3 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高, 前顔の上方は横に凹み, 縦隆起線を欠く。表面は鮫肌状, 微細な点刻と剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{6}$ 倍。側縁は後方に弱く狭まり, 前側角は弱く丸まり, 徐々に前縁に連なる。前縁は強く丸まり, 瓦状片を欠く。横隆起は非常に弱く, 中央のはるか前方に位置する。瓦状片はやや細かい。点刻は側方に認められる。前方, 側方には剛毛をそなえる。小楯板は小さく半楕円形。翅鞘は前胸背より少し幅広い。長さは幅の約 $1\frac{6}{7}$ 倍。側縁は基方約 $\frac{2}{3}$ が後方に広がり, その後徐々に丸まる。後縁は深く湾入し, 湾入部の側方中央に小突起をそなえ, これを境に 2 波状となる。外後角はやや角ばる。点列部は狭く, やや小さな疎な点刻列からなる。列間部は広くわずかに隆起し, 微細な点刻をそなえる。斜面部は翅鞘の中央の少し後方から始まり, 非常にゆるやか。第 2 歯より後方の側縁は竜骨状をなし, 後方に顆粒と剛毛をそなえる。表面は圧せられ会合線に沿ってわずかに隆起する。点列部は欠く。光沢はやや弱い。上方の第 2 列間部には顆粒状突起をそなえ, その下側方に第 1 歯を, 中央部側方に第 2 歯をそなえ, いずれも円錐形で大きく, 第 2 歯は第 1 歯より大きく基部に剛毛をそなえる。

寄生樹種: ラワン。

分 布: フィリピン。

Xyleborus ampicranulus EGGERS

EGGERS, 1922, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 204

体長 2.2~2.6 mm。長さは幅の約 3 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘は黒味を帯びる。光沢は強い。

頭部は中高, 前顔の上方は横に凹み, 縦隆起を欠き, 複眼を弧状に結んだ所がわずかに凹む。表面は鮫肌状, 微細な点刻と長毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{5}$ 倍。側縁は後方に弱く狭まり, 前方は徐々に前縁に移行する。前縁は強く丸まり, 亜前縁に瓦状片を並べる。横隆起は非常に弱く中央より前方に位置する。瓦状片は細かく, 前方のものは少し幅広くなる。点刻は不明瞭であるが, 側方に大きくなる。前方, 側方には剛毛をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{6}{7}$ 倍。側縁は中央までわずかに広がり, その後狭まる。後縁は強く丸まり, 幅狭い釣鐘形の深い湾入部をそなえる。点列部は狭くかすかに凹み, 点刻は小さく疎。列間部は広く平坦, 微細な点刻列をそなえ, 側方, 後方には直立した剛毛を生ずる。第 1 列間部は後方に顆粒をそなえる。斜面部は翅鞘のほぼ中央から始まり, 非常にゆるやか。表面は圧せられ, 光沢強く, 側方は隆起し, 会合線に沿ってわずかに隆起し, その側方は細く圧せられる。後側方は竜骨状となり小顆粒をそなえる。上縁中央部には第 1 歯, 中央部側方には第 2 歯をそなえ, いずれも円錐形で尖り, 第 1 歯は大きい。湾入部の後側角近くには小円錐形の突起をそなえる。後側縁には剛毛を疎生する。

寄生樹種: メルクシマツ, アガチス。

分 布: ボルネオ, スマトラ, ジャワ。

Xyleborus emarginatus EICHHOFF

EICHHOFF, 1878, Stettin. ent. Ztg., 39 : 392

体長 3.3~4.2 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{8}$ 倍。暗赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。口器、触角、肢は淡色。光沢は強い。

頭部は中高、前顔上方は横に凹む。複眼上縁を弧状に結んだ線はわずかに凹む。正中線は下方で弱く隆起する。表面はやや大きい点刻を密にそなえ、剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁はほぼ平行し、前側角はゆるく丸まり前縁に連なる。前縁は強く丸まり鋸歯を欠く。横隆起は非常に弱く、中央のわずかに後方に位置する。瓦状片は細かく、中央のわずかに後方から前方に分布する。点刻は明瞭で後方、側方に大きく密になる。前縁、側縁には長い剛毛をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅狭い。長さは幅の約 $1\frac{3}{4}$ 倍。側縁はほぼ平行し、斜面部近くで弱く丸く狭まる。側縁は片側の翅鞘が丸まり会合線で広く丸く湾入する。点列部は狭くやや凹み、浅くやや大きな点刻からなる。列間部は幅広くわずかに隆起し、細かい点刻列と後方に剛毛列をそなえる。基方の点刻は大きくなる。側縁は剛毛を有する。斜面部は翅鞘の後方約 $1/3$ にあり、ゆるく傾斜する。後側縁には竜骨状突起を欠く。表面は周辺を除き圧せられ、会合線に沿って隆起し、その側方は凹む。点列部は欠く。斜面部上方の第 1 列間部には 2~3 個の小顆粒と、第 2 列間部には剛毛を持った 1 突起と側方中央部にも剛毛をもった 1 突起をそなえる。後縁突出部には小顆粒と剛毛を疎にそなえる。

寄生樹種：アガチス、メルクシマツ、ラワン、ラミン、ジョンコン、カプール、メランティ、マトア、ターミナリア、カロフィルム。

分 布：支那（福建）、ビルマ、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ、ニューギニア、ニューブリテン、ソロモン諸島。

Xyleborus fallax EICHHOFF

EICHHOFF, 1878, Stettin. ent. Ztg., 39 : 392

体長 2.5~2.8 mm。長さは幅の約 3 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高、正中線に沿ってわずかに隆起する。表面は鮫肌状、明瞭に点刻され剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は後方にわずかに狭まり、前方はゆるく丸く狭まり前縁に連なる。前縁は強く丸まり、亜前縁に瓦状片をそなえる。横隆起は非常に弱く、中央より前方に位置する。瓦状片は細かい。点刻は側方を除き不明瞭。前縁、側縁は剛毛をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は剛毛をそなえ、中央部まで平行し、その後わずかに狭まる。後縁は弱く丸まり、やや広く丸い湾入部をそなえ、湾入部の側角は丸まる。点列部は狭く凹まず、やや大きな点刻を疎にそなえる。これは後方に浅く疎となる。列間部は平坦で疎な点刻列をそなえ、この中のいくつかは大きくなる。第 1 列間部は後方に小顆粒をそなえる。斜面部は非常にゆるやかで翅鞘の後方約 $1/3$ に位置する。後側縁は竜骨状突起を欠く。表面は圧せられ、上方会合線を除き隆起する。全体は鮫肌状、中央突起の下方には点刻列が認められる。第 2 列間部の上方には円錐形の 1 突起と中央部上方の側方に大きい円錐形の 1 突起をそなえ、湾入部後側角内方に顆粒をそなえる。側縁、後縁には剛毛をそなえる。

寄生樹種：アガチス、ラワン、メランティ。

分 布：ビルマ、アッサム、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、メンタワイ諸島、ジャワ、ニューギニア。

Xyleborus concitatus SCHEDL

SCHEDL, 1969, Kontyû, 37 : 214

体長は 4.4 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{8}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢はやや強い。

頭部は均一に中高。表面は皺肌状、小顆粒をそなえ、下方では密になり、上方では細かい点刻におきかえられる。全面に細かい剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁は弱い弧状をなし、前側角はやや弱く丸まる。前縁はやや弱く丸まり、7～8個の瓦状片突起をそなえる。横隆起はやや強く、中央より前方に位置する。瓦状片は細かく前方のものはわずかに幅広くなる。横隆起の後方は浅いが明瞭な点刻を密にそなえる。瓦状片部の側方には短い剛毛を生ずる。小楯板はやや大きく半円形。翅鞘は前胸背よりかすかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は斜面部に至るまでわずかに広がる。後縁は上方からみてやや鈍三角形となる。点列部は凹まず、やや大きい点刻を疎に並べる。列間部は明瞭な点刻を不規則にそなえる。この点刻は点列部のものより明らかに小さい。斜面部は後方で急に截断される。上縁を含めた囲込は竜骨状に縁取られる。表面は中高、第1列間部に沿って後方に伸びる隆起がある。点列部は3条認められ、丸く大きく浅い点刻列からなる。第3点列部は弧状をなして外方に曲がる。列間部は微細構造によって光沢弱く、内方のものは中高となる。第1列間部は上方を除き小顆粒列をそなえ、その下方のものほど大きく密になる。第2列間部は疎な小顆粒列をそなえる。第3列間部はより小さい顆粒を疎布する。これらの顆粒は非常に短い剛毛を生ずる。

寄生樹種：台湾産広葉樹。

分 布：支那（台湾）。

Xyleborus punctatissimus EICHHOFF

EICHHOFF, 1880, Not. Leyd. Mus., 2 : 189

体長 4.8～5.0 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{9}$ 倍。黄褐色。複眼は黒色。前胸背の瓦状片は黒褐色。前胸背の横隆起の前方、翅鞘斜面部は暗褐色。光沢はやや強い。

頭部はやや中高、両複眼上縁を結んだ線から上方は中高、不明瞭な縦隆起線をそなえる。前頭は側方に長毛をそなえた不明瞭な点刻をそなえる。上方には微細な縦皺と不規則な皺状の隆起をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央の後部で後方に弱く狭まり、前方はやや強く丸まり、徐々に前縁となる。前縁は強く丸まり突起を欠く。背面の隆起はやや弱く、その前方はやや強く傾斜する。瓦状片は後方では細かく、前方、側方では幅広くなり、所々に幅広く後方に伸びた瓦状片をそなえる。点刻部は小顆粒をやや密にそなえ、基部中央だけ点刻される。全体に寝た剛毛をそなえ、前縁、側縁には長い剛毛を生ずる。小楯板はやや大きく後方の丸まった楕形。翅鞘の長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。基部は前胸背より幅広い。側縁は基方ほぼ $\frac{1}{3}$ が後方に弱く広がり、その後弱く狭まる。後縁は中央近くで強く丸まり、中央が突出したような形になる。点列部は凹まず、寝た短毛を持った浅い点刻からなる。列間部は広くほとんど隆起せず、寝た短毛をそなえた不明瞭な浅い点刻を不規則にかつ密にそなえ、立った短毛

を散在させる。第 1 列間部は他のものに比較して狭い。斜面部は翅鞘の後方約 $3/4$ にあり、徐々にゆるく傾斜し、ほぼ平坦で第 2, 3 列間部は凹む。点列部の点刻は背面より大きく明瞭。第 1, 2 列間部は細かい剛毛をそなえた微細な点刻をそなえる。第 3 列間部より外方のものは粗造となり短毛をそなえる。中、後肢の脛節は先端まで狭まらず、外縁の鋸歯は大きく $6 \sim 7$ 個。

寄生樹種：メルクシマツ。

分 布：ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ。

Xyleborus obliquesectus EGGERS

EGGERS, 1927, Philip. Jour. Sci., 33 : 99

体長 $4.0 \sim 4.4$ mm。長さは幅の約 $2 \frac{2}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢はやや強い。

頭部はわずかに中高、中央に幅広い無点刻の低い縦隆起帯をそなえる。表面は鮫肌状、密で大きな点刻と長毛をそなえる。複眼は大きく、上方は前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁はほとんど平行、後方は弱く狭まり、前方は弱く丸まり前縁に続く。前縁は三角形に突出し、中央には数個の鋸歯状突起をそなえる。横隆起は弱く、ほぼ中央に位置する。瓦状片は後方では細かく、前方になるほど大きくかつ斜立する。点刻は細かく、側方ほど大きく密になる。全体に寝た毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背よりやや幅広く、長さは幅の約 $1 \frac{3}{8}$ 倍。側縁は半分 of の少し後方まで広がり、その後均一に丸く狭まって後縁に連なる。後縁は中央部で鈍く角ばる。背面は斜面部前方が高まった円筒形。点列部は凹まず点刻は大きい。列間部は浅い点刻を不規則にそなえる。これらの点刻は前方、側方に大きく密となり、点列部のものと区別しがたいため点列部を欠くかのように見える。全体に不規則な長さの剛毛をそなえる。斜面部は翅鞘の長さの半分から急に始まり、ややゆるやかで長卵形。後側縁は小歯状突起列をそなえ、下方は鋸歯状に変わる。表面はやや中高、下方は合合線に沿って広く高まる。点列部は幅広いが浅く、大きな浅い点刻の列からなり、不明瞭な寝た毛が点刻より生ずる。列間部は広く弱く隆起し、大きな顆粒を散在させるが、下方ではほとんど 1 列に並ぶ。この顆粒は内下方の列間部で小さくなる。列間部はほぼ 1 列になった長剛毛列をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Xyleborus semiopacus EICHHOFF

EICHHOFF, 1878, Ratio, descriptio, emendatio eorum Tomycinorum, p. 334

体長 $2.0 \sim 2.6$ mm。長さは幅の約 $1 \frac{1}{8}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。斜面部は黒褐色で光沢を欠く。

頭部はやや中高、前顔の上方に狭い縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状、細長い隆起状の顆粒と短い剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。基方 $1/3$ の所で最大幅となり、前方に徐々に丸く狭まり前縁となる。前縁は強く丸まり密な瓦状突起をそなえる。横隆起はやや弱く、中央より後方に位置する。瓦状片は細かいが、前方、側方では幅広くなり、前縁近くでは斜立する。点刻は明瞭、その間は鮫肌状。小楯板

はやや大きく三角形。翅鞘は前胸背より幅広く、長さは幅の約 $1\frac{2}{9}$ 倍。側縁はほぼ平行し、後縁は強く丸まる。点列部はかろうじて認められ、点刻はやや細かく疎。列間部は幅広く、点列部とほぼ同じ大きさの点刻を不規則にそなえる。斜面部は中央の前方から始まり、後側縁は竜骨状に縁取られる。表面はやや中高、微細構造によって光沢を欠き、微細顆粒を不規則にそなえるが、上方では大きく疎となる。列間部と点列部を欠くが、列間部にあたる所に長い剛毛列を、点列部にあたる所には短い寝た剛毛をそなえる。

寄生樹種：タイワンスギ、メルクシマツ、チーク、クスノキ。

分 布：日本からセイロンまでのインドマレー区、東はニューギニアより西はアフリカまでの亜熱帯、熱帯。

Xyleborus ursulus EGGER

EGGER, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 173

体長 3.9~4.4 mm。長さは幅の約 $1\frac{7}{9}$ 倍。赤褐色ないし黒色。光沢はやや強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方両端は弱く圧せられる。中央縦線は欠く。剛毛をそなえた明瞭な点刻を不均一にそなえ、下方では密になる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{7}{9}$ 倍。側縁は基方から $\frac{1}{3}$ の位置で最大幅、前後に強く丸く狭まる。前側角はなく徐々に前縁に移行する。前縁は強く丸まり4突起をそなえ、その中の2個は大きい。横隆起はやや強く、中央の後方に位置する。瓦状片はやや大きく、前方に幅広く斜め後方に伸びる。後方の点刻は大きくやや密で立った剛毛をそなえる。前縁、側縁には長い剛毛をやや密にそなえる。小楯板は大きく楕形。翅鞘は前胸背と同じかやや幅広い。長さは幅にほぼ等しい。側縁は中央部近くまではほぼ平行し、その後狭まり後縁となる。後側縁は縁取られない。後縁はやや弱く丸まり斜面部の顆粒によって小鋸歯状となる。背面の基方は高まる。点列部は凹まず、浅く丸くやや疎な点刻からなり、寝た短い剛毛を生ずる。列間部は非常に幅広く、やや長い剛毛をそなえた数列よりなる顆粒点刻を不規則にそなえる。この点刻は点列部のものより短い。第1列間部は他のものより幅狭い。斜面部は基方の少し後方から徐々に始まり、ややゆるやかで中高。点列部の点刻は下方に大きくなる。列間部は下方に狭まり、点刻は1列あるいは不規則な2列となる。下方には小顆粒をそなえる。外方の列間部ほどこの小顆粒は上方に分布し、かつ密になる。

寄生樹種：ラワン、スパーバオ、ガバス材。

分 布：支那（福建）、タイ、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、ジャワ、バリー島。

Xyleborus subcostatus EICHHOFF

EICHHOFF, 1868, Berl. ent. Ztg., 12 : 281

体長 3.9~4.2 mm。長さは幅の約 $2\frac{2}{5}$ 倍。黒褐色ないし黒色。触角、肢は黄褐色。腹部下面は赤褐色。光沢は強い。

頭部はやや中高、前顔の上方はほぼ半円形に凹み、弱く短い縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状、細かい点刻をそなえるが、上方中央のものは大きい。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は非常に弱く丸まり、前側角は強く丸まる。前縁は上方から見ると、非常に弱く丸まるが、中央部が前下方に丸く突出する。横隆起は非常に強く、中央より後方に位置する。瓦状片は中央でやや大きく、前方のものは幅広く斜め後方に伸びる。横隆起の後方は鮫肌状、

瓦片状の顆粒をそなえ、後方に小さく疎となる。前縁、側縁には長い剛毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{5}{9}$ 倍。側縁は徐々に後方に広がり、斜面部近くで狭まる。後縁は丸まった三角形で中央が突出したようになる。点列部は幅広く凹まず、横位の卵形の浅い大きな点刻からなる。列間部はやや狭く、平坦、1 列に並んだ細かい点刻と短毛列をそなえ、これは後方に長くなる。斜面部は中央の後方から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側縁は縁取られない。上方を除き第 1 点列部とその内方は凹み、後縁近くで反転する。点列部の点刻は浅いが、後方に非常に大きくなる。列間部は狭く、1 列の小顆粒と長い剛毛をそなえる。第 2 列間部の中央上方には円錐形の強い突起をそなえる。

寄生樹種：ラワン、アビトン、サラワク材、ジョンコン、メランティ、ラミン。

分 布：タイ、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、オーストラリア。

Xyleborus bidentatus (MOTSCHULSKY)

MOTSCHULSKY, 1863, Bull. Soc. Imp. Nat. de Moscou, 36 : 514

体長 3.1~3.6 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。黒褐色ないし黒色。

頭部は弱く中高、前顔の上方は横に凹む。中央縦線は短い。表面は鮫肌状。点刻は明瞭であるが、下方、上方では細くなる。周辺には剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁は弱く丸まり、前側角は強く丸まる。前縁は上方から見ると非常に強く丸まるが、中央部は前下方に丸く突出し、その後方は弱く凹む。横隆起は非常に明瞭で強く、中央の後方に位置する。瓦状片は中央でやや大きく、前方のものは幅広く斜め後方に伸びる。横隆起の後方は鮫肌状、瓦状片の顆粒をそなえるが、後方に小さく疎になる。前縁、後縁には長毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広く、長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。側縁は後方にわずかに広がり、斜面部近くで狭まる。後縁は丸まった三角形で中央が突出したようになる。点列部は幅広く凹まず、横に長い卵形の浅い大きな点刻の列からなり、点刻の後方は弱く圧せられ伸びた形となる。列間部はやや狭く弱く隆起し、1 列の小顆粒列と剛毛列をそなえる。後方の剛毛は長くなる。斜面部は翅鞘の中央の後方から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側縁は縁取られない。表面はかすかに中高。点列部の点刻は丸く後方に大きくなる。第 1 点列部は中央で凹む。列間部は小顆粒列と長い剛毛列をそなえる。第 2 列間部はほぼ中央に円錐形の突起をそなえる。

寄生樹種：ラワン、アビトン、サバラウンド材、セラヤ、メランティ、タウン、バク材、ポメティア。

分 布：ビルマ、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ、インド、セレベス、ニューギニア、ニューブリテン、オーストラリア、マダガスカル、東アフリカ。

Xyleborus costatomorphus SCHEDL

SCHEDL, 1950, Ann. Mag. Nat. Hist., (12)3 : 897

体長 2.3~2.5 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部はやや中高、前頭下方は前顔と段をなすか凹まず平坦。縦隆起線は弱いやや長い。表面は鮫肌状、荒い点刻を疎布する。

前胸背の長さは幅とほぼ同じ。側縁は中央部まで広がる。前側角は強く丸まる。前縁は上方から見て非

常に弱く丸まるが、中央部は前下方に丸く突出する。横隆起は非常に明瞭で強く、中央の後方に位置する。瓦状片は中央でやや大きく、前方では幅広く斜め後方に伸びる。横隆起の後方は鮫肌状、瓦状片の顆粒をそなえるが、後方で小さく疎になる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。側縁は後方にかすかに広がり、斜面部近くで狭まる。後縁は丸まった三角形、中央が突出した形となる。点列部は幅広く凹まず、横に長い楕円形の浅い点刻列からなり、この点刻は後方に大きくなる。列間部はやや狭く、顆粒列と剛毛列をそなえる。斜面部は翅鞘の中央の後方から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側縁は縁取られない。表面はかすかに中高。点列部の点刻は丸く短剛毛をそなえる。第1点列部は中央で浅く凹む。列間部は鮫肌状をなし、顆粒と剛毛の列をそなえる。第2列間部は中央部付近に1小突起をそなえる。

寄生樹種：ラワン、セラヤ、メランティ。

分 布：フィリピン、ボルネオ。

Xyleborus concisus BLANDFORD

BLANDFORD, 1894, Trans. Ent. Soc. London, 1894 : 107

体長 2.6~2.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{6}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘斜面部は暗褐色。光沢は強いが斜面部ではこれを欠く。

頭部はかすかに中高、中央部は縦に弱く隆起する。前顔の上方は横に凹む。前頭下方は光沢が強く細かい点刻を疎にそなえるが、上方は鮫肌状、明瞭な点刻をやや密にそなえる。表面は中央部を除き剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{4}{5}$ 倍。側縁は基方から $\frac{1}{4}$ で最大幅となり、前後に丸く狭まり徐々に前縁に移行する。前縁はやや強く丸まり、瓦状片によって波状をなす。横隆起はやや強く、中央の後方に位置する。瓦状片は中央で細かく、前方のものは徐々に幅広くなり、後方に弱く伸び、側方でははるか後方まで分布する。点刻は細かいが明瞭、側方のものはやや密になる。小楯板はやや大きく、ほぼ三角形。翅鞘の長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。側縁は後方にわずかに広がる。後縁はやや強く丸まる。点列部は凹み、明瞭な点刻からなる。第2点列部の点刻は細長い。列間部は幅広く、不規則に並んだ細かい点刻と立った剛毛をそなえる。斜面部は翅鞘の基方 $\frac{1}{3}$ から始まり、初めは徐々に、後方 $\frac{1}{2}$ に達すると急に傾斜する。後側縁は竜骨状に縁取られる。前方は中高、後方中央は第2列間部に沿って弱く凹む。後縁近くでは弱く反転する。点列部は狭く凹む。列間部は短い鱗毛を密生し、地肌は見えない。

寄生樹種：メルクシマツ、ラワン、ジョンコン、カジュクク、グリーンチーク。

分 布：日本、ビルマ、フィリピン、ボルネオ、スマトラ、ジャワ。

Xyleborus sexspinus SCHEDL

SCHEDL, 1935, Stylops, 4(12) : 271

体長 6.1~6.8 mm。暗赤褐色ないし黒色。光沢は強い。長さは幅の約 $2\frac{5}{9}$ 倍。

頭部は弱く中高、下方に長い槍尻形の隆起をそなえ、その中央部は縦に凹む。表面は大きな点刻をそなえ、この点刻は頭頂近くで小さくなり、下方のものは不明瞭で横皺をそなえる。剛毛は長く疎。複眼は大きく、上方は前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅の約 $4/5$ 倍。側縁は前方 $3/5$ が前方に狭まるが、丸まった方形。横隆起は中央部の前方に位置し、やや強い。前方、側方には剛毛を生ずる。瓦状片は前方、側方に大きくなる。後方は細かく浅い点刻をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりやや広く、長さは幅の約 $1\frac{3}{5}$ 倍。側縁は中央まで後方に広がり、その後弱く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は細かい点刻を密にそなえ、弱く押圧される。第 1 点列部は基方を除き消失する。列間部は幅広く弱く隆起し、ほとんど無点刻。第 1 列間部は狭く圧せられ、点刻を密にそなえ、後方に広がる。第 2 列間部より外方の列間部は外方に曲がる。斜面部は翅鞘の基方 $1/4$ からゆるく始まり、後方 $1/3$ はやや急になる。上縁はハの字形に隆起し、内上方には各 4 個の剛毛を持った大きな歯状突起をそなえ、その外後方には約 10 個の小突起を不規則にそなえる。後側縁と後縁は竜骨状に縁取られ、細かい鋸歯状をなす。表面は上方で凹み、後下方は中高、大きな点刻を不規則にそなえる。第 1 列間部は上方で後方に広がるが、その後、後方に狭まる。第 2, 3, 4 列間部は上方で隆起し、小突起をそなえる。会合線の両側は下方に疎な小顆粒列をそなえる。下方、外側方にはやや長い剛毛をそなえる。

寄生樹種：ラワン、セラヤ、メルサワ。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ。

Xyleborus pseudopilifer SCHEDL

SCHEDL, 1936, Jour. Fed. Mal. St. Mus., 13 : 11

体長 5.9~6.5 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、下方に大きな逆三角形の隆起をそなえる。表面は平坦で平滑。その上方には大きな点刻を密にそなえる。隆起部の下外方は細かく点刻され、やや長い剛毛をそなえる。複眼は大きく、前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅の約 $8/9$ 倍、方形に近い。側縁は中央部の前方で最大幅、前後に弱く丸まる。横隆起は中央のわずかに前方に位置し、やや強い。前方、側方に剛毛を生ずる。瓦状片は細かく、前方、側方に大きくなる。点刻は細かいが明瞭。小楯板は小さく、半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{3}{5}$ 倍。側縁は前方 $1/3$ が後方に広がり、その後ほぼ平行する。後縁は強く丸まるが、会合線部はわずかに突出する。点列部は狭くわずかに圧せられ、点刻は基方に大きくなる。第 1 点列部は不明瞭で不規則な大きな点刻をそなえる。列間部は幅広くわずかに隆起し、ほとんど無点刻。第 1 列間部はやや低く、前方は狭く、後方に広がり大きな点刻を密にそなえる。第 2, 3 列間部は後方で狭まり、外方に曲がる。斜面部は翅鞘の後方 $1/3$ にあり、後側縁は竜骨状に縁取られ鋸歯状をなす。表面は中高、浅いが大きい点刻を不規則にそなえる。列間部は剛毛を持った顆粒列によってのみ認められ、これは上方に大きくなり、第 1 列間部では背面まで伸びる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ。

Xyleborus posticepilosus SCHEDL

SCHEDL, 1950, Tijdschr. v. Ent., 93 : 92

体長 5.6~6.6 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。暗赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部はわずかに中高，中央に菱形の隆起をそなえ，その表面は平坦で平滑，中央上方は大きな点刻をそなえ，上方に小さくなる。下方は小さな点刻を密に，長い剛毛をやや疎にそなえる。前顔は横に隆起し平滑。複眼は大きく前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央部の後方で幅広く前後にかすかに丸まる。前縁は弱く丸まり，前下方に伸び，中央に数個の小歯をそなえる。横隆起はやや強く，ほぼ中央に位置する。瓦状片は細かく，前縁近くでやや大きくなり尖る。点刻は細かい。瓦状片部，側方には剛毛を生ずる。小楯板は小さくほぼ半円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{5}{8}$ 倍。側縁は後方に広がり，その後急に丸まり，後縁はほぼ三角形に突出する。点列部は狭くほとんど圧せられず，点刻は基方で疎になる。列間部は幅広く，わずかに隆起し，ほぼ一列に並んだ点刻をそなえる。この点刻は点列部のものよりわずかに小さく疎。第1列間部は狭く後方に広がる。第3列間部より外方の列間部は徐々に外方に曲がる。斜面部は後方 $\frac{5}{9}$ にあり，急で中高，長円形。後側縁は竜骨状に縁取られ，小鋸歯状。表面は下半部が会合線を中心に隆起する。点列部は上方で凹み，明瞭な点刻の列からなるが，下方では不規則な列となる。列間部は上方で隆起し，剛毛を持った小顆粒列をそなえる。顆粒は第1列間部のものを除き下方に小さく疎となる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Xyleborus macropterus SCHEDL

SCHEDL, 1935, Stylops, 4: 271

体長は 3.3~3.9 mm。長さは幅の 3 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘の後方は黒褐色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔の上方にわずかに隆起線が認められ，その上方は縦に浅く凹み平滑。前顔は横に隆起し，平滑でその上方は横に凹み，点刻は明瞭で密，やや長い剛毛を密にそなえる。複眼は大きく，前頭の内方に入り込む。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央部で幅広く，前後に弱く丸まる。前縁は強く丸まり，中央に数個の小歯状突起をそなえる。横隆起はやや強く中央の前方に位置する。前半，側方にはやや長い剛毛を，点列部には側方を除き短い剛毛をそなえる。瓦状片は細かく，前方，側方に大きくなる。点刻は細かいが明瞭でその間は鮫肌状。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{5}{8}$ 倍。側縁はほとんど後方に広がり，後方で徐々に丸く狭まる。後縁はほぼ鈍三角形。点列部は狭く凹まず，点刻は前方に小さくなり浅い。列間部は広く，かすかに隆起し，横皺を疎にそなえ，点刻は不規則な1列で剛毛を生じ，点列部のものとはほぼ同じ大きさで疎。斜面部は翅鞘の中央の前方から始まり，ゆるやかに傾斜し，中高，卵形。下方は会合線に沿って隆起する。後側縁は竜骨状に縁取られ小鋸歯状。点列部の点刻は背面のものより大きく，下方では不規則となる。列間部は上方で弱く隆起し，剛毛の生じた小顆粒列をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン，ボルネオ，マラヤ。

Xyleborus pseudomajor SCHEDL

SCHEDL, 1950, Tijdschr. v. Ent., 93 : 93

体長 4.3~4.9 mm。長さは幅の約 $2\frac{7}{9}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強いが斜面部ではこれを欠く。

頭部は弱く中高、前顔上方には幅広い無点刻の弱い隆起をそなえ、その側方は弱く凹み、粗造。表面は中央部を除き明瞭に点刻されるが上方では密となり、やや長い剛毛を疎にそなえる。複眼は大きく、上方は前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央より後方で最も幅広く、後方に弱く前方にわずかに狭まる。前側縁は強く丸まり、前縁はかすかに丸まる。横隆起は強く、ほぼ中央に位置する。瓦状片は細かいが、側方、前方のものは幅広くなり、前縁近くのものは斜立し大きい。点刻は明瞭で鮫肌状。側方、前方には剛毛をそなえるが、側縁、前縁のものは長い。小楯板はやや大きく半円形。翅鞘は前胸背よりやや大きい。長さは幅の約 $1\frac{5}{8}$ 倍。側縁は斜面部あたりまで広がり、その後弱く狭まったあと後縁となる。後縁は先端の丸まった鈍三角形。背面は小楯板の後方から弱く高まったあと斜面部に移行する。点列部はやや狭く凹まないが明瞭。点刻は前方で疎になる。列間部はほぼ平坦、点列部より疎な点刻をそなえる。斜面部は中央の後方から始まり、上方は弱く丸く、わずかに傾斜し、下方はゆるやか。後側縁は凹凸を持った竜骨状突起によって縁取られる。表面は弱く中高。下方は会合線に沿って広く隆起する。点列部は弱く凹み、点刻は丸く大きい。第 1, 2 点列部は中央で圧せられ、不規則な 2 列となる。列間部は顆粒列と、これより生ずる長剛毛列を有する。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Xyleborus funereus LEA

LEA, 1910, Proc. R. Soc. Vict., 22 : 139

体長 3.2~3.3 mm。長さは幅の約 $2\frac{3}{8}$ 倍。暗赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方は横に凹み、中央部の上方には卵形の隆起をそなえる。表面は鮫肌状、隆起部を除き不整形の大きな点刻をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央部の後方で最も幅広く、前後方にわずかに狭まり、前側角はやや強く、前縁は弱く丸まり、わずかに細かく波状をなす。横隆起はやや強く、中央の前方に位置する。瓦状片は細かく、前方のものは幅広く弱く突出する。点刻は細かく不明瞭。前方と側縁には剛毛を生ずる。小楯板はやや大きく、ほぼ三角形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{7}$ 倍。側縁はほぼ中央部までわずかに広がり、その後弱く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は凹まず、大きな浅い点刻をやや疎にそなえる。列間部は広く、平坦で剛毛の生じた点列部と同じ大きさの点刻の列からなる。第 1 列間部は狭い。斜面部は中央部の後方から徐々に始まり、後側縁は竜骨状に縁取られる。表面はほぼ中高。点列部の点刻は欠く。第 1 列間部は狭く、第 2 列間部は幅広い。第 2 列間部は 4~5 個の短い突起をそなえ、その基部は膨らむ。第 3, 4 列間部は 3~4 個の小突起をそなえる。これらの突起は剛毛を有する。

寄生樹種：インドネシア材。

分 布：アンダマン諸島、フィリピン、ジャワ、セレベス、ニューギニア、オーストラリア。

Xyleborus quadraticollis EGGERs

EGGERs, 1923, Zool. Med. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 197

体長 4.1~4.3 mm。長さは幅の約 $2\frac{3}{8}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強いが、翅鞘は基部を除きこれを欠く。

頭部はわずかに中高、前顔の上方は不規則な隆起をそなえる。前頭は光沢を欠き、隆起部を除き点刻をそなえるが、上方では細くなる。上方の点刻間は鮫肌状、複眼内方、前顔上方には長い剛毛を生ずる。複眼は小さい。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{8}{9}$ 倍。側縁は基方 $\frac{1}{3}$ の所で最も幅広く、前後に弱く狭まる。前側角は非常に強く丸まり、前縁はかすかに丸まる。横隆起は強く、中央より前方に位置する。瓦状片は中央では細かいが、すぐ前方から幅広くなる。前縁近くものは幅広いが短く斜立しない。点刻は細かいが基方では大きくなる。点刻間は鮫肌状。前、側、後方には剛毛を生ずる。小楯板はやや大きく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。基縁には剛毛をそなえる。側縁は中央部の後方まで広がり、その後わずかに丸まり、斜面部中央の前方から強く丸まり後縁に連なる。後縁は強く丸まる。背面は光沢を欠いた部分の前方まで高まり、その後低くなる。点列部は明瞭に凹み密な点刻をそなえるが、基部では凹まず点刻は小さく疎となる。列間部はわずかに隆起し、光沢のある部分では小さな点刻列をそなえるが、その後方では大きいものと小さいものを入り混ぜた顆粒列と、剛毛列をそなえる。斜面部は翅鞘のほぼ後方 $\frac{1}{3}$ にあり、後側縁は竜骨状に縁取られる。点列部は凹み、点刻は背面のものより大きい。列間部は隆起し、剛毛の生じた小顆粒列をそなえる。第 2 列間部は中央で低くなる。第 4, 5, 6 列間部は側方中央部で合流する。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

Xyleborus velatus SAMPSON

SAMPSON, 1913, Ann. Mag. Nat. Hist., 12 : 443

体長 2.5~2.6 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高、縦隆起線は欠くが中央部が縦に隆起する。表面はほとんど点刻を欠き平滑、下側方に小顆粒をそなえ、下方、側方に剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{4}{5}$ 倍。側縁は中央部の後方で最大幅となり前後に狭まる。前側角はやや強く丸まる。前縁は弱く丸まり瓦状片によって波状となる。後縁はわずかに丸く凹む。横隆起は強くほぼ中央に位置する。瓦状片は横隆起付近では細かく、前方に幅広くなり前縁近くものは半円形で斜立する。点刻は不明瞭。瓦状片部と側方には剛毛を生ずる。小楯板はやや小さく、幅広い半円形。翅鞘は前胸背よりやや幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。前縁はわずかに縁取られる。側縁は中央部近くまでわずかに広がり、その後かすかに狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は後方で弱く凹み、点刻は大きく、前方で疎になる。列間部は幅広く、かすかに隆起し、微細な点刻列と長い剛毛を生ずる。点刻は斜面部近くから顆粒に変わる。第 1 列間部はやや狭い。斜面部は中央の前方から徐々に始まる。後側縁は竜骨状に縁取られる。表面は均一に中高。点列部は弱く凹む。列間部は隆起し、剛毛の生じた小顆粒列をそなえる。

寄生樹種：チーク、カジュクク。

分 布：ビルマ，ボルネオ。

Xyleborus noxius SAMPSON

SAMPSON, 1913, Ann. Mag. Nat. Hist., 12 : 445

体長 2.4~2.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部はやや中高，前顔上方は横に凹む。表面はやや大きな点刻と剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $\frac{6}{7}$ 倍。側縁は後方 $\frac{1}{3}$ で最大幅となり前後に弱く狭まる。前側角はやや強く丸まる。前縁は弱く丸まり瓦状片によって細かい波状となる。横隆起は強く，ほぼ中央に位置する。瓦状片は隆起部で細かく，前側方で幅広くなり，前縁近くでは斜め後方に突出する。点刻はやや大きいが入く不明瞭。瓦状片部，側縁には剛毛を生ずる。小楯板はやや小さく三角形。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{4}{7}$ 倍。側縁は中央部の後方までわずかに広がり，その後弱く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は後方で弱く凹み，やや大きく浅い点刻からなり，基方では疎になる。列間部は広くほとんど隆起せず，小顆粒列をそなえるが，基方では点列部のものよりわずかに小さい点刻となる。後方は剛毛列をそなえる。第 1 列間部は狭い。斜面部は中央から徐々に始まる。後側縁は竜骨状に縁取られる。表面はやや中高。点列部は浅く凹み，点刻は背面より明らかに大きい。列間部はわずかに隆起し，光沢が弱く，剛毛の生じた顆粒列をそなえる。

寄生樹種：チーク。

分 布：タイ，ビルマ，インド。

Xyleborus validus EICHHOFF

EICHHOFF, 1875, Ann. Ent. Soc. Belg., 18 : 202

体長 3.4~3.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{9}$ 倍。黒褐色ないし黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔から上方に長い縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状，明瞭な点刻をそなえるが，上方，下方では小さくなる。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央部の後方で最大幅となり，前後に弱く狭まる。前側角は強く，前縁は弱く丸まり，細かい波状をなす。横隆起は非常に強く中央のやや後方に位置する。瓦状片は細かく，前方に幅広くなるが弱く突出する。点刻は非常に細かい。前，側方には剛毛を生ずる。小楯板は小さく三角形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{4}{9}$ 倍。側縁は中央部の前方までわずかに広がり，その後方はゆるく狭まる。後縁は強く狭まる。点列部は後方で凹み，点刻は大きいが入方では疎に，後方では密になる。列間部は広く弱く隆起し，疎な剛毛の生じた小点刻列をそなえるが，斜面部近くで小顆粒に変わる。第 1 列間部は狭い。斜面部は中央の前方から徐々に始まる。後側縁は竜骨状に縁取られる。表面はやや中高，第 2 列間部は後縁の上方で弱く圧せられる。点列部は弱く圧せられ，点刻は背面より疎で大きい。列間部は光沢が弱く，剛毛の生じた小顆粒をそなえる。第 2 列間部は後方で顆粒列を欠く。

寄生樹種：台湾産広葉樹。

分 布：日本，朝鮮，支那（台湾）。

Xyleborus interjectus BLANDFORD

BLANDFORD, 1894, Trans. Ent. Soc. London, 1894 : 576

体長 3.4~3.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{3}$ 倍。黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔から上方に長い隆起をそなえる。表面は鮫肌状、細点刻を下方に密に、上方に疎にそなえる。中央側方の点刻は浅いが大きい。剛毛は疎。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央の後方で最大幅となり、後方に強く、前方に弱く狭まる。前側角はやや強く、前縁はやや強く丸まる。横隆起は強く中央より後方に位置する。瓦状片はやや大きく、前方のものは広くなり、半円形に近く斜立する。後方の点刻は微細、その間は細かい鮫肌状。前方、側方には長い剛毛をそなえる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{3}{8}$ 倍。側縁は中央部の前方までわずかに広がり、その後弱く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は後方でわずかに圧せられる。点刻は大きく浅い。第1点列部は基方で外方に少し曲がる。列間部は広く、剛毛の生じた小顆粒列をそなえる。第1列間部は狭い。斜面部は中央の前方から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側縁は竜骨状に縁取られる。表面は弱く中高。点列部は凹み、第1点列部は強く凹む。列間部は隆起し、背面より大きく疎な顆粒列と剛毛をそなえる。

寄生樹種：タイワンスギ、セラヤ、メランティ、ジョンコン、M. L. H. 材、ラミン、インドネシア材。

分 布：日本、支那（台湾）、インド支那、アンダマン諸島、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ。

Xyleborus destruens BLANDFORD

BLANDFORD, 1896, Trans. Ent. Soc. London, 1896 : 221

体長 3.6~4.6 mm。長さは幅の約 $2\frac{3}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部はわずかに中高、前顔の上方に幅広い縦隆起をそなえる。表面は隆起部を除き鮫肌状、大きな点刻をそなえるが、前顔の上方では顆粒に変わる。剛毛は長く疎生する。複眼は大きく、上方は前頭に入り込む。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁は中央部で最大幅となり、前後に弱く丸まる。前側角は強く丸まる。前縁は弱く丸まり、約7個の歯状突起をそなえる。横隆起は強く、中央の少し前方に位置する。瓦状片は細かく、側方、前方のものは幅広くなり、前縁近くのもの長くなり斜立する。点刻はやや明瞭であるが側方に大きく密になる。点刻の間は鮫肌状。全体に短い剛毛をそなえるが、前縁、側縁近くでは長くなる。小楯板はやや大きく、幅広い半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{3}{5}$ 倍。側縁は中央部まで広がり、その後わずかに狭まり、斜面部中央から丸く狭まる。後縁はほぼ鈍三角形。背面は小楯板から翅鞘の $\frac{1}{3}$ までわずかに隆起し、その後、後方に低くなり斜面部に移行する。点列部は弱く凹み明瞭。点刻は前方で疎となる。第1点列部の点刻は大きい。列間部はほぼ平坦、点列部より小さく疎な点列部をそなえ、中央部を除き長い剛毛列をそなえる。第1点列部は狭く点刻を欠き、横皺をそなえる。斜面部は中央部の後方から徐々に傾斜し始め、光沢は強い。後側縁は凹凸を持った竜骨状突起によって縁取られる。表面は弱く中高、上方は会合線に沿ってかすかに広く凹み、下方でこの部分が高まる。点列部は弱く凹み、点刻は丸く大きい。第1、2点列部では中央で2列となる。列間部は弱く隆起し、やや尖った顆粒列とやや長い剛毛列をそなえる。

寄生樹種：ラワン，ガバス，インドネシア材，タウン，ソロモン材。

分 布：フィリピン，セレベス，ニューブリテン島，ソロモン諸島。

Xyleborus procerrimus SCHEDL

SCHEDL, 1968, Kontyû, 37 : 214

体長 3.7 mm。長さは幅の約 $2\frac{5}{8}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔の上方は圧せられ，中央にY字形の平滑な隆起線をそなえる。表面は鮫肌状，微細な点刻をそなえ，上方の点刻は疎で大きくなる。下方にはやや長い剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅の約 $8/9$ 倍。側縁はほぼ平行し，前後に弱く丸く狭まる。前側角は強く丸まる。前縁はわずかに丸まり，瓦状突起を欠く。横隆起は強く，中央より前方に位置する。瓦状片は細かく，前方，側方のものは幅広くなるがほとんど斜に伸びない。後方の点刻は微細。剛毛は前方，側方に疎に生ずる。小楯板はやや小さく半楕円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{5}{8}$ 倍。側縁は中央部で最も広く，翅鞘のほぼ $2/3$ から後方は徐々に丸く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部は凹み，点刻は浅いが大きい。第1点列部は基方で外方に曲がる。列間部はやや狭く，弱く隆起し，1列のやや大きな点刻をそなえる。この点刻は後方で顆粒に変わる。剛毛は側方に生ずる。斜面部は後方ほぼ $1/3$ から徐々に始まり，ゆるやかに傾斜し，後側縁は竜骨状に隆起する。表面は後端と中央部の間で横に凹む。点列部は背面より強く凹む。列間部は隆起し，小顆粒列と剛毛をそなえる。

寄生樹生：タウン。

分 布：マラヤ，ニューブリテン島。

Xyleborus solomonicus SCHEDL

SCHEDL, 1970, Kontyû, 38 : 363

体長 2.3~2.6 mm。長さは幅の約 $2\frac{1}{2}$ 倍。赤褐色ないし暗赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部はやや中高，弱い縦隆起をそなえる。点刻はやや明瞭。剛毛は長い。

前胸背の長さは幅よりわずかに小さい。側縁はほぼ中央部で最大幅となり前後に狭まる。前側角はやや強く丸まる。前縁は弱く丸まり波状とならない。横隆起はやや強く中央の後方に位置する。瓦状片は隆起部で細かく，前方では幅広くなる。後方の点刻は不明瞭。剛毛は前方，側方に生える。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背よりやや幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{2}$ 倍。側縁は中央部までわずかに広がり，その後弱く狭まる。後縁は強く丸まる。点列部はほとんど凹まず，浅いやや大きな点刻からなり，前方では疎になる。列間部は広く，ほとんど隆起せず，顆粒列をそなえ，後方では剛毛を生ずる。斜面部は翅鞘の中央から徐々に始まり，後側縁は竜骨状をなす。表面はやや中高，光沢を欠き，後縁上方で浅くハの字形に凹む。点列部は部分的に弱く凹み，点刻は浅いが大きい。列間部は剛毛の生じた小顆粒をそなえる。

寄生樹種：ソロモン材。

分 布：ソロモン諸島。

Xyleborus similis FERRARI

FERRARI, 1867, Die forst- und baumzuchtschädlichen Borkenkäfer, p. 23

体長 2.1~2.5 mm。長さは幅の約 $2\frac{2}{3}$ 倍。赤褐色，複眼は黒色。光沢は強いが斜面部は光沢を欠く。

頭部は正中線を中心に中高，前顔の上方で浅く横に凹む。表面は鮫肌状，明瞭な点刻をそなえ，下方には剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅とほぼ同じ。側縁は側方 $\frac{1}{3}$ で最大幅となり，前後に狭まる。前側角は強く丸まる。前縁は丸味が弱い。横隆起は中央のわずかに前方に位置し，やや強い。瓦状片は細かく，前方，側方に大きくなるが，幅はあまり広くない。点刻は細かいが明瞭。瓦状片部と側方には剛毛を有する。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{3}{4}$ 倍。側縁は中央部前方まで弱く後方に広がり，その後わずかに狭まり，後縁近くで丸く狭まり後縁に連なる。後縁は中央で強く丸まる。点列部は狭いが，やや密で大きな点刻列からなり弱く凹む。列間部は広く，疎な細かい点刻列と剛毛をそなえる。剛毛は前方では短くなる。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ にあり，ゆるやかで弱く中高。後側縁は竜骨状に縁取られる。第 1，2 点列部は中央で外方に丸く曲がり弱く凹む。列間部は光沢を欠き剛毛列をそなえる。第 1 列間部は中央で広がり 2 個の長い顆粒状突起とその上方に小顆粒をそなえる。顆粒の部分は弱く隆起する。

寄生樹種：ラワン，カロサピス，クスノキ，ソラン材，ガバス，パルダオ，セラヤ，ビリアン材，クルイン材，ラミン，サラワク材，メランティ，カジュクク，サンボン材，カンブ材，チーク，カプール，クク材，ビナン材，ニューギニア材，マトア，エリマ。

分 布：支那（台湾），ビルマ，フィリピン，ボルネオ，マラヤ，ジャワ，インド，セイロン，ニューギニア，ソロモン諸島，ガム島，クリスマス島。

Xyleborus indicus EICHHOFF

EICHHOFF, 1878, Stettin. ent. Ztg., 39 : 392

体長 2.0~2.1 mm。長さは幅の約 $2\frac{7}{9}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔の上方は横に凹み，短い縦隆起をそなえる。表面は鮫肌状，小点刻と剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁は基方 $\frac{1}{3}$ が前方に広がり，中央 $\frac{1}{3}$ はほぼ平行し，その前方は丸まる。前縁の丸味は弱い。横隆起は中央にあり，やや弱い。瓦状片は全体に細かい。点刻は非常に細かい。前方，側方には剛毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{2}{3}$ 倍。側縁は中央部の少し後方まで広がり，後縁近くで急に丸まる。後縁は弱く丸まる。点列部はやや広く弱く凹み，大きな点刻列からなる。列間部は広く，わずかに隆起し，ほとんど無点刻，奇数の列間部には剛毛を散在させる。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ にあり，ゆるやかで弱く中高。後側縁は竜骨状に縁取られる。点列部は背面と同じ点刻からなるが，より強く凹む。第 1，2，3 点列部は中央の少し下方で外方に弱く曲がる。列間部は点刻を欠き，剛毛列をそなえる。第 1 列間部は小顆粒列をそなえ，下方で他の列間部よりやや強く隆起する。第 2，3 列間部は中央の下方でやや低くなる。

寄生樹種：ガバス材，インドネシア材，ターミナリア，エリマ。

分 布：インド支那，ビルマ，フィリピン，ボルネオ，マラヤ，スマトラ，ジャワ，インド，セイロン，セレベス，ニューギニア，ニューブリテン島，フィジー。

Xyleborus glabratus EICHHOFF

EICHHOFF, 1877, Dtsch. ent. Z., 21 : 127

体長 2.3~2.5 mm。長さは幅の約 $3\frac{1}{6}$ 倍。暗赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色、光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の少し上方で横に凹む。縦隆起線は不明瞭であるが認められる。表面は鮫肌状、非常に細かな点刻と微毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。側縁はほぼ直線で前方にわずかに広がり急に丸まって前縁となる。前縁は中庸に丸まり、瓦状片によって微小な波状をなす。横隆起はやや強く中央のわずかに前方に位置する。瓦状片は細かいが前方、側方に大きくなる。点刻は微細であるが認められる。前方、側方には剛毛を生ずる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 2 倍。側縁は中央部で多少膨らむが後縁までほぼ平行する。後縁は中央部で折れるように強く丸まり、会合線でわずかに凹む。点列部は狭く凹まず、疎な非常に微細な剛毛を持った小点刻列からなる。列間部はやや広く、隆起せず、非常に微細な剛毛を持った疎な微小点刻列をそなえる。斜面部は翅鞘の後方 $\frac{1}{3}$ から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側縁は竜骨状に縁取られる。点列部は狭く小点刻をそなえ、第 3 点列部を除き明瞭に凹む。列間部は隆起し、小顆粒列と非常に細かい剛毛列をそなえる。第 1 列間部は中央の下方で膨らみ、この下方にやや大きな顆粒をそなえる。その他の列間部は中央の下方で外方に湾曲する。

寄生樹種：台湾産広葉樹。

分 布：支那（台湾）、日本。

Xyleborus laevis EGGERS

EGGERS, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 201

体長 1.9~2.0 mm。長さは幅の約 3 倍。赤褐色。複眼は黒色。前胸背の基方は淡赤褐色。光沢は強い。

頭部はわずかに中高、縦隆起を欠く。表面は鮫肌状、側方に剛毛の生じた数個の大小 2 種の点刻をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{7}$ 倍。側縁は前方に丸く広がる。前縁はやや強く丸まり、瓦状片によって細かい波状となる。横隆起はやや強く中央の少し前方に位置する。瓦状片はやや細かく前方、側方に大きくなる。点刻はほとんど欠く。側縁、前縁には疎な剛毛を生ずる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{7}{9}$ 倍。側縁は中央部まで後方にわずかに広がり、その後わずかに狭まりながら後縁に連なる。後縁は中庸に丸まり、会合線でわずかに凹む。点列部は狭く凹まず、小さな疎な点刻列よりなる。列間部はやや広く、ほとんど無点刻で無毛。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ から徐々に始まり、ゆるやかに傾斜する。後側角は竜骨状に縁取られる。表面は中高で光沢は強い。点列部は凹み、背面の点刻より大きい点刻からなる。第 1, 3 列間部は幅広く、小顆粒列と微毛を生ずる。第 2 列間部は幅広く、小顆粒列と微毛を生ずる。第 2 列間部は狭く低く、かつ小顆粒を欠く。

寄生樹種：ソロモン材。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ、ジャワ、ニューギニア、ニューブリテン、ソロモン諸島。

Xyleborus satoi SCHEDL

SCHEDL, 1966, Kontyû, 34 : 39

体長 2.5~2.7 mm。長さは幅の約 $2\frac{5}{8}$ 倍。赤褐色，複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔上方の横凹陷を欠き，中央部が膨らみ光沢の強い長い縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状。点刻は明瞭で側方のものは長剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅とはほぼ同じ。側縁は丸く前方に広がり，徐々に前縁に連なる。前縁は強く丸まり滑らか。横隆起はやや強く，ほぼ中央に位置する。瓦状片は全体に細かく，その間隔は鮫肌状をなす。後方の点刻は基縁前方にわずかに認められ，その他の部分是小顆粒に置きかえられる。全体に微毛を生じ，前縁，側縁には長い剛毛を疎生する。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背より幅広い。長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は中央部の後方までわずかに広がり，その後，徐々に丸く狭まり，後縁に連なる。後縁は中央部で強く丸まる。点列部はやや狭く。疎な寝た微毛のある点刻列よりなるが後方では密となり，わずかに凹む。列間部はわずかに隆起し，小点刻列と横皺をそなえ，剛毛列を有する。斜面部は後方ほぼ $1/3$ から徐々に始まり，ゆるやかに傾斜する。後側縁は縁取られない。表面は中高で光沢が弱い。第 2 列間部は中央の下方で凹む。第 1, 2 点列部は浅く凹み，点刻は小さい。他の点列部の点刻は不明瞭であるが微毛列をそなえる。列間部は剛毛列をそなえ，第 2 列間部下方を除き微小顆粒列をそなえる。

寄生樹種：台湾産広葉樹。

分 布：支那（台湾）。

Xyleborus eximius SCHEDL

SCHEDL, 1970, Kontyû, 38 : 362

体長 2.7~3.0 mm。長さは幅の約 $3\frac{1}{8}$ 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢はやや弱い。

頭部は弱く中高，前顔の上方で横に凹む。表面は鮫肌状，下側方は荒く点刻され剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は前方に広がり，前方で強く丸まり，前縁に連なる。前縁は強く丸まり，瓦状片によって微鋸歯状となる。横隆起はない。中央の前方にはやや細かい瓦状片をそなえる。後側方には点刻が認められる。瓦状片部と側方には剛毛を生ずる。小楯板は小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに広く，長さは幅の約 2 倍。側縁は中央部近くまで平行し，その後やや強く丸く狭まる。後縁は側方でくびれ，中央は丸く突出する。背面は中央部から徐々に丸く低まり斜面部に移行する。点列部はあまり明瞭でないが狭く凹まず，疎な小点刻からなる。列間部は広く，点列部のものより小さな点刻列をそなえる。奇数の列間部と側方には剛毛を疎生する。真の斜面部はゆるやかで半円形に凹むか，その下方は丸く中高となり，上方は会合線に沿って凹む。斜面部上側縁は弱く隆起する。点列部は欠く。中央上方には基部の隆起した厚い円錐形の突起と下方円形隆起部の両側には顆粒状突起と上縁，側縁には小顆粒突起を疎にそなえる。これらの突起は剛毛を生ずる。

寄生樹種：アガティス，ラワン，レッドセラヤ，メランティ。

分 布：フィリピン，ボルネオ。

Xyleborus subagnatus SCHEDL

SCHEDL, 1964, Reichenbachia, 3 : 314

体長 2.4~2.7 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘はやや暗色。光沢は強い。

頭部はわずかに中高。前顔の上方は横に凹み、上方に円形の凹みがある。表面は鮫肌状、小顆粒と剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{9}$ 倍。側縁は後方に弱く狭まる。前側角は弱く丸まり前縁に連なる。前縁は強く丸まり、鋸歯を欠く。横隆起は弱く、中央より前方に位置する。瓦状片は小さいが密。横隆起の後方は鮫肌状、点刻は細かいが密。小楯板は小さく楕形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広く、長さは幅の約 $1\frac{2}{3}$ 倍。側縁は後方に弱く広がる。後側角は強く丸まり後縁に連なる。後縁はやや弱く丸まり、鋭い小突起をそなえる。点列部はやや不明瞭で凹まず、疎なやや小さい点刻からなり、寝た短毛をそなえる。列間部は幅狭く、荒く波をうち、点刻は認められず短い剛毛を不規則にそなえる。斜面部は翅鞘の後方約 $1/3$ にありやや急に傾斜する。後側角は竜骨状突起を欠く。表面はかすかに中高か平坦、光沢はやや弱い。第 1~3 点列部は狭く強く凹み、第 1~2 点列部の点刻は背面のものより大きい。第 1~3 列間部は隆起し、第 1, 3 列間部には顆粒状の突起を、上縁と第 4 列間部より側方には小顆粒をそなえる。列間部には不規則なやや長い剛毛を不規則にそなえ、点列部には寝た短い剛毛をそなえる。

寄生樹種：ラワン、アピトン、メランティ、カロフィルム。

分 布：フィリピン、ボルネオ、ソロモン諸島。

Xyleborus agnatus EGGERS

EGGERS, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 197

体長 1.9~2.4 mm。長さは幅の約 $2\frac{6}{7}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色、翅鞘の後方は暗褐色。光沢は強い。

頭部はわずかに中高、前顔の上方は横に凹み、上方にかすかな凹みをそなえ、隆起線を欠く。表面は鮫肌状、微細な顆粒と短毛をそなえる。

前胸背の長さは幅とほぼ同じ。側縁はほぼ平行し後方でわずかに狭まる。前側角は弱く、中央よりはるか前方に位置する。瓦状片は小さいが密。点刻は不明瞭であるが認められる。前縁、側縁に剛毛をそなえる。小楯板はほぼ半円形で小さい。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{4}{5}$ 倍。側縁は平行し、後縁は強く丸まり鋭い小突起をそなえる。点列部は浅く凹み、点刻は大きいが疎で寝た微毛をそなえる。列間部は幅狭く、点刻は大きく、長い剛毛をそなえる。斜面部は後方 $1/3$ にあり、ゆるやかに傾斜する。側縁は竜骨状突起を欠く。表面は会合線に沿って浅く凹み、側方は丸く隆起する。第 1, 2 点列部は凹む。第 2, 3 列間部は上方に小突起列をそなえ、上方のものほど大きくなる。その側方は不規則な顆粒をそなえる。全面に長い剛毛をやや密にそなえる。

寄生樹種：ラワン、ターミナリア、カロフィルム、ディレニア。

分 布：フィリピン、ボルネオ、マラヤ、ジャワ、ニューギニア、ソロモン諸島。

Xyleborus ferrugineus FABRICIUS

FABRICIUS, 1801, Syst. Eleuth., 2 : 388

体長 2.2~2.6 mm。長さは幅の約 $3\frac{3}{8}$ 倍。赤褐色、複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高，前顔の上方は横に浅く凹み短い縦隆線をそなえる。表面は鮫肌状，微細な点刻と剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{6}$ 倍。側縁はほとんど平行し，基部近くで狭まり，前方は徐々に丸く狭まり前縁に連なる。前縁はやや強く丸まる。横隆起は中央より前方に位置し，やや強い。瓦状片は細かく，前方，側方に大きくなる。点刻は細かく疎。瓦状片部と側方には剛毛をそなえる。小楯板はやや小さく，半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広く，長さは幅の約 $1\frac{7}{8}$ 倍。側縁は中央部まで後方にわずかに広がり，その後少し狭まった後，丸く狭まり後縁に連なる。後縁は強く丸まり 2, 3 個の瘤起をそなえる。点列部はやや幅広く，やや密な大きな点刻の列からなりわずかに圧せられる。列間部はやや狭く，わずかに隆起し，非常に細かい点刻列と後方と側方には剛毛列を生ずる。斜面部は後方 $1/3$ にあり，ゆるやかで弱く中高。第 1, 2 列間部附近は浅く凹む。後側縁は竜骨状に縁取られない。上方には小顆粒を散在させる。点列部は弱く凹み，点刻は大きく密。列間部は剛毛列をそなえるが内方の列間部のものは短い。第 3 列間部は中央に円錐状の突起をそなえる。この基部は隆起し，外方の列間部は小顆粒をそなえる。

寄生樹種：アガチス， ラワン， ビリア材， サラワク材， カプール， カメレレ材， タウン， カロフィルム， デイレニア， ブラックウォルナット， ブラジル材， マコア材， マンソニア。

分 布：熱帯，亜熱帯の共通種。

Xyleborus mascarensis EICHHOFF

EICHHOFF, 1878, Ratio, descriptio, emendatio eorum Tomycinorum, p. 372

体長 2.0~2.4 mm。長さは幅の約 $2\frac{3}{4}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強いが斜面部では光沢を欠く。

頭部は弱く中高，前顔の上方は浅く凹み，短い中央隆起線をそなえる。表面は鮫肌状で細かい点刻と剛毛を有する。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は弱く丸まり，前方は徐々に前縁に連なる。前縁は強く丸まる。横隆起はほぼ中央に位置し，やや強い。瓦状片は中央を除き幅広い。後方の点刻は細かい。側縁，前縁には剛毛を生ずる。小楯板はやや小さく角の丸まった三角形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広く，長さは幅の約 $1\frac{2}{3}$ 倍。側縁は中央部の前方まで広がり，その後徐々に狭まり後縁に続く。後縁は強く丸まる。点列部はやや狭く，大きくやや密な点刻列からなり，中央部で明らかに凹み，後方では微毛を生ずる。列間部はわずかに隆起し，点列部とはほぼ同じ大きさの点刻を非常に疎にそなえ，基部を除き，剛毛を生ずる。斜面部近くには疎な小顆粒列をそなえる。斜面部は中央部の少し後方から徐々に始まり，ゆるやかで弱く中高。後側縁は竜骨状に縁取られない。点列部の点刻は背面とほぼ同じで，中央部はより強く圧せられる。列間部は光沢を欠き，第 2 列間部の中央を除きやや隆起し，剛毛列と疎な顆粒列をそなえる。

寄生樹種：タイワントウヒ， アガチス， メルクシマツ， クスノキ， ラワン， アピトン， パルダオ， サラワク材， メランティ， セノン， カジュランガオ， チーク， マトア， マコア材。

分 布：支那（台湾），ビルマ，フィリピン，ボルネオ，マラヤ，スマトラ，ジャワ，セレベス，ニューギニア，アフリカ，その他亜熱帯，熱帯共通種。

Xyleborus pfeili (RATZBURG)

RATZBURG, 1837, Forstinsekten, 1 : 168

体長 3.0~3.6 mm。長さは幅の約 3 倍。赤褐色ないし黒褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は中高, 前顔の上方は横に凹み, 不明瞭な縦隆起線をそなえる。表面は鮫肌状, 細かい点刻をやや密にそなえる。下半部には剛毛を疎生する。

前胸背の長さは幅とほぼ同じ。側縁は後半が前方にかすかに広がり, その後徐々に丸く狭まり前縁に連なる。前縁はやや強く丸まり, 瓦状片によって鈍い鋸歯状となる。横隆起はほぼ中央に位置しやや強い。瓦状片は中央部を除きやや大きく疎。点刻は細かく不明瞭。瓦状片部と側方には剛毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背よりわずかに幅広い。長さは幅の約 $1\frac{7}{9}$ 倍。側縁は前半部がかすかに後方に広がり, その後わずかに狭まり, 後縁近くで丸く狭まり後縁に連なる。後縁は中央で強く丸まる。点列部は大きな点刻からなり, やや広く弱く凹み, 点刻には短毛が生ずる。列間部は広く疎な点刻列をそなえ, いずれの点刻も長い剛毛が生ずるが, 斜面部近くでは小顆粒に変わる。斜面部は後方約 $\frac{1}{3}$ にあり, ゆるやかでわずかに中高。後側縁は竜骨状に縁取られない。点列部はわずかに凹み, 短毛を生ずる。点刻は大きく密。第 1 列間部には 2 個の小さな円錐形の突起とその上方に小顆粒をそなえる。第 2 列間部は突起を欠く。第 1 列間部の広がった部分で 2 波状に曲がる。第 3 列間部には約 3 個の小さい円錐形の突起をそなえる。外方の列間部には小顆粒をそなえる。列間部には大小 2 種類の剛毛をそなえる。

寄生樹種: カラマツ, トドマツ, チョウセンゴヨウマツ, ラディアタパイン, ヘムロック, ダグラスファー, ラワン。

分 布: 日本, 朝鮮, シベリア, 欧州。

Karl E. SCHEDL 教授の同定によると *Xyleborus adumbratus* BLANDFORD が本種のシノニムとされているが, 本種の分布から, 寄生樹種のなかには日本の港で寄生したものも含まれる。

Xyleborus cognatus BLANDFORD

BLANDFORD, 1896, Ann. Soc. Ent. France, 65 : 19

体長 2.5~3.0 mm。長さは幅の約 $2\frac{7}{9}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。前胸背前半, 翅鞘後半は黒褐色。光沢は強い。

頭部は正中線に沿って中高, 前顔の上方に浅い横凹線をそなえる。表面は鮫肌状, やや大きな点刻を疎に, 長い剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。側縁は前方に弱く広がり, その前方は丸く狭まり前縁に連なる。前縁はやや弱く丸まり, 瓦状片によって細鋸歯状。横隆起線は中央の少し前方に位置し, やや強い。瓦状片はやや大きい。点刻はやや大きく側方に密になる。側方の点刻間は細皺状印刻をそなえる。前方, 側方には疎な剛毛をそなえる。小楯板はやや小さく半円形。翅鞘は前胸背より少し幅広い。長さは幅の約 $1\frac{3}{4}$ 倍。側縁は中央部までかすかに後方に広がり, その後徐々に強く丸まる。後縁は中央部で強く丸まる。点列部は狭く凹まずやや大きな点刻からなる。列間部は広く細かで疎な点刻列と長い剛毛列をそなえるが, 斜面部近くで点刻は小顆粒に変わる。背面の前方には剛毛を欠く。斜面部は後方 $\frac{1}{3}$ にあり, ゆるやかで弱く中高。後側縁には竜骨状突起を欠く。点列部の点刻は背面より大きく, 短い剛毛をそなえる。第 1~3 点列部は凹む。列間部は剛毛をそなえ, 弱く中高であるが第 2 列間部は中央で凹む。第 1 列間部は 3 個, 第

2列間部は下方に1個、第3列間部に2、3個の円錐形の突起をそなえ、その外方には小顆粒をそなえる。

寄生樹種：ラワン、ガバス材、セラヤ、クリン材、カプール、サラワク材、メランティ、チャンプ材、バカウ材、クク材、マトア、ポネティア、カロフィルム、デレニア、タイワントウヒ。

分 布：インド支那、ビルマ、アンダマン諸島、フィリピン、ボルネオ、マラヤ、スマトラ、ジャワ、インド、セイロン、ニューギニア、オーストラリア、フィジ。

Xyleborus torquatus EICHHOFF

EICHHOFF, 1868, Berl. ent. Z., 12: 146

体長 2.4~2.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{4}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。翅鞘の後方が黒味を帯びた個体が多い。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方は横に凹む。表面は鮫肌状、細かい点刻を上方に密にそなえ、側方、下方には剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁は前方にわずかに広がる。前縁は半円形に丸まり、瓦状片によって小波状をなす。横隆起は中央よりわずかに後方に位置しやや弱い。瓦状片はやや細かいがほぼ均一。点刻は非常に細かい。側方、前方には剛毛を生ずる。小楯板はやや小さく、角の丸まった三角形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{5}{8}$ 倍。側縁は中央部の後方まで広がり、その後かすかに狭まり後縁に連なる。後縁は中庸に丸まる。点列部はやや狭く、圧せられ、やや疎な点刻列からなる。列間部はやや広く、点列部のものとはほぼ同じ大きさの点刻と剛毛を疎にそなえ、斜面部近くには小顆粒をそなえる。斜面部は翅鞘の後方 $1/3$ にあり、始めはなだらかであるが、後方でやや急になり、わずかに中高。後側縁には竜骨状突起を欠く。点列部はやや強く圧せられ、点刻は大きいのが後方に小さくなり微毛を生ずる。列間部は小顆粒と剛毛列をそなえる。

寄生樹種：タイワントウヒ、アガティス、メルクシマツ、カプール、ラワン、グバス、パルダオ材、セラヤ、サラワク材、ジョンコン、メランティ、カジクク、ジエルトン、カプール、クク材、その他。

分 布：熱帯、亜熱帯の共通種。

筆者は日本からは沖縄の個体を検ただけである。

Xyleborus perforans (WOLLASTON)

WOLLASTON, 1857, Catalogue of the coleopterous insects of Madeira in the collection of the British Museum, p. 96

体長 2.0~2.5 mm。長さは幅の約 $2\frac{3}{5}$ 倍。赤褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔上方は横に凹む。表面は鮫肌状、細かい点刻をやや密にそなえる。側方、下方には剛毛を生ずる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{4}$ 倍。側縁は前方にかすかに広がる。前縁は半円形に丸まり、瓦状片によって小波状をなす。横隆起は中央部よりわずかに前方に位置しやや弱い。瓦状片はやや細かく前方、側方に幅広くなる。点刻は細かい。小楯板はやや小さく、角の丸まった三角形。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{4}{5}$ 倍。側縁は中央部まで広がり、その後徐々に狭まり後縁に連なる。後縁はやや強く丸まり、

斜面部近くで小顆粒をそなえる。点列部は狭く強く圧せられ、点刻はやや小さいが密。列間部はやや広く、わずかに隆起し、非常に細かい点刻をそなえ、全面に剛毛を疎生する。斜面部は翅鞘の後方はほぼ $1/3$ にあり、ゆるやかでわずかに中高。後側縁には竜骨状突起を欠く。点列部は弱く圧せられ、点刻は大きく、後方に小さくなる。剛毛は短い。列間部は小顆粒と剛毛列をそなえる。

寄生樹種：アガチス、メルクシマツ、ラワンを始め各種広葉樹。

分 布：熱帯、亜熱帯共通種。

筆者は日本からは小笠原、沖縄の個体を検したただけである。

Xyleborus diversicola EGGER

EGGER, 1923, Zool. Meded. R. Mus. N. H., Leiden, 7 : 202

体長 1.6~1.7 mm。長さは幅の約 $2\frac{5}{8}$ 倍。淡赤褐色。複眼は黒色。翅鞘、腹部は暗赤褐色。光沢は強い。

頭部はかすかに中高、前顔の上方は横に浅く凹み、中央に弱く短い縦隆起をそなえる。表面は鮫肌状、不明瞭な点刻と短毛をそなえる。

前胸背の長さは幅よりわずかに大きい。側縁はかすかに前方に広がる。前縁は弱く丸まり、瓦状片によって微小波状をなす。横隆起は弱く中央のわずか前方に位置する。瓦状片は細かいが、前方、側方に大きくなる。点刻は側方に微小ながら認められる。瓦状片部と側方には剛毛を生ずる。小楯板は小さく竜骨状。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{3}{5}$ 倍。側縁は後縁近くまではほぼ平行し、後縁は中庸に丸まる。点列部は狭く凹まず、細かい点刻の列からなり、後方に寝た微毛を生ずる。列間部は広くほとんど隆起せず、点列部と同様な点刻列をそなえ、後方には長い剛毛列をそなえる。斜面部は翅鞘の中央後方から徐々に始まり、後方でゆるやかに傾斜する。後側縁は竜骨状突起をそなえ、その内方は凹み縁取られる。表面は中高、背面より若干光沢が弱い。点列部は明瞭で寝た微毛をそなえる。列間部はわずかに隆起し、小顆粒と背面のものより長く密な剛毛をそなえる。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン、マラヤ、ニューギニア。

Xyleborus saxeseni (RATZBURG)

RATZBURG, 1837, Forstinsekten, 1 : 204

体長 2.0~2.4 mm。長さは幅の約 3 倍。黒褐色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔は横に隆起する。表面は鮫肌状。浅く明瞭な点刻をそなえるが下方では小さくなる。全面に短い剛毛をそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{6}$ 倍。側縁は前方にわずかに広がり、その後ゆるく丸まり前縁に連なる。前縁はやや強く丸まり瓦状片を欠く。横隆起は弱く中央よりはるか前方に位置する。瓦状片はやや細かく、前方、側方に大きくなる。後側方のみ点刻を、瓦状片部と側方には剛毛をそなえる。小楯板は小さく竜骨状。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{6}{7}$ 倍。側縁は基方 $2/3$ が平行し、その後丸く狭まり後縁となる。後縁の中央はほぼ一直線となり、その両側に 3, 4 個の突起をそなえる。点列部は狭いが弱く凹み、明瞭な点刻と寝た微毛をそなえる。列間部はやや広く、わずかに隆起し、微細な点刻列をそなえる。

この点刻は点列部のものよりはるかに疎でやや長い剛毛を生じ、後方では小顆粒に置きかえられる。列間部の後方は光沢を欠く。斜面部は後方 1/3 から徐々に始まり、初めは丸く、その後ゆるく傾斜する。後側縁は竜骨状突起を欠くが小突起をそなえる。表面は弱く中高、光沢を欠く。点列部はやや強く凹むが点刻は不明瞭。列間部は隆起し疎な顆粒列と背面より長い剛毛の列をそなえる。第 2 列間部は凹み、顆粒と剛毛を欠く。

寄生樹種：タイワンヒノキ、ヘムロック、ダグラスファー、ノブルファー、ウォルナット。

分 布：日本、朝鮮、支那（台湾）、インド支那、ニュージーランド、シベリア、欧州、北米。

Xyleborus exiguus WALKER

WALKER, 1859, Ann. Mag. Nat. Hist., (3)3 : 260

体長 1.6~1.8 mm。長さは幅の約 $2\frac{5}{9}$ 倍。暗黄褐色。複眼は黒色。前胸背前方、翅鞘は黒味を帯びる。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方は凹み、縦隆起線を欠く。表面は鮫肌状で細かい点刻をやや密に、剛毛を疎にそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{7}$ 倍。側縁はほぼ平行し、基方で丸く狭まり、前方は強く狭まる。前縁は強く丸まる。横隆起はやや弱く、中央より前方に位置する。瓦状片は細かく、前方で幅広くなる。点刻は側方においても不明瞭。全面に微毛をそなえるが、側方、前方のものは長くなる。小楯板は小さく竜骨状。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{5}{9}$ 倍。側縁は中央まで平行し、その後狭まり後縁に移行する。後縁は強く丸まり、小さく疎な鋸歯状をなす。点列部はやや幅広く、わずかに凹み、やや大きな点刻列からなり、短毛列をそなえる。列間部は比較的狭く、わずかに隆起し、小突起と長い剛毛列をそなえ、突起は後方で大きくなる。斜面部は後方 1/3 にあり、ゆるやかで中高。後側縁は縁取られない。第 2 列間部は凹み、他の列間部には小突起列がある。剛毛は背面と同様であるが密で長い。

寄生樹種：ラワン、セラヤ、ラミン、ディレニア、トランティ。

分 布：ビルマ、アンダマン諸島、フィリピン、マラヤ、スマトラ、ジャワ、インド、セイロン、ニューギニア、ニューブリテン、ソロモン諸島、フィジー、タヒチ。

Xyleborus sharpae HOPKINS

HOPKINS, 1915, U. S. Dep. Agr., Ent. Rep., 99 : 63

体長 1.4 mm。長さは幅の約 $2\frac{8}{9}$ 倍。暗赤褐色。光沢はやや強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方は横に凹み、縦隆起を欠く。表面は鮫肌状、細点刻と剛毛を疎にそなえる。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁はほぼ平行し、基方で丸まり、前方はやや強く狭まり前縁に移行する。前縁は強く丸まる。横隆起はほとんど欠き、中央の前方に位置する。瓦状片は細かい。微細点刻が側方に認められる。全面に短毛があるが、前方、側方では長くなる。小楯板は竜骨状。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $1\frac{5}{9}$ 倍。側縁はほぼ中央部まで平行し、その後丸く狭まる。後縁は強く丸まり数個の小突起をそなえる。点列部は狭く凹まず、疎な不明瞭な点刻列からなり短毛列をそなえる。列間部は広く、微小顆粒列と剛毛列をそなえる。顆粒は後方で大きくなる。斜面部は後方 1/3 にあり、ゆるやかで

中高。後側縁は竜骨状突起を欠く。列間部は隆起し、小突起列をそなえる。第 2 列間部は凹み、突起を欠く。斜面部の剛毛は背面のものより短い。

寄生樹種：*Rondius amazoguee*。

分 布：アイボリコスト。

Xyleborus subnaevus SCHEDL

SCHEDL, 1966, Kontyû, 34 : 40

体長 2.3~2.4 mm。長さは幅の約 $3\frac{1}{2}$ 倍。黄褐色。複眼は黒色。光沢はやや弱い。

頭部は中高、縦隆起を欠く。表面は鮫肌状、微細な点刻をそなえ、下方は粗造で剛毛をやや密にそなえる。複眼は大きい。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁はほぼ平行する。前縁は弱く丸まり瓦状片によって鋸歯状となる。横隆起は欠く。中央よりはるか前方に細かい瓦状片をそなえ、これは前方に幅広くなる。点刻は微細であるが密。瓦状片部、側方に剛毛をそなえる。小楯板は不明瞭。翅鞘は前胸背とほぼ等幅。長さは幅の約 $2\frac{1}{8}$ 倍。基縁は内方で縁取られる。側縁は翅鞘長の前方 $1/2$ が平行し、その後狭まり、1 突出部となって終わる。基部中央左右に内方に向いた短毛を持った、ほぼ円形の穴がある。表面は後方で徐々に低くなり、斜面部を形成しない。点列部は狭く凹まず、微細な点刻列からなり不明瞭。列間部は微細構造をなし、微細な剛毛を不規則にそなえるが、側方、後方ではやや長くなり、長い剛毛を混生する。

寄生樹種：ラワン、セラヤ。

分 布：フィリピン、ボルネオ、スマトラ。

Xyleborus pedellus SCHEDL

SCHEDL, 1969, Kontyû, 37 : 213

体長 1.4 mm。長さは幅の約 3 倍。黄褐色。複眼は黒色。光沢は強い。

頭部は弱く中高、前顔の上方に短い縦隆起線をそなえる。表面は細かい点刻を密に、剛毛を疎にそなえるが側方の剛毛は長い。

前胸背の長さは幅の約 $1\frac{1}{8}$ 倍。側縁は前方に広がり、前縁は強く丸まり、瓦状片を欠く。横隆起は弱く中央より前方に位置する。瓦状片は細かい。点刻は側方に認められる。瓦状片部、側方には剛毛を生ずるが、前縁のものは長い。翅鞘は前胸背と等幅。長さは幅の約 $1\frac{3}{4}$ 倍。側縁は中央部の後方までほぼ平行し、その後弱く丸まり後縁に連なる。後縁は弱く丸まる。背面は前縁会合線を中心にほぼ半円形に凹む。点列部は狭く凹まず疎な小点刻からなり寝た短毛をそなえる。列間部は広く疎な微小点刻と立った剛毛の疎な列をそなえる。斜面部は後方 $1/3$ から始まり、徐々に丸く傾斜し、ややゆるやか。後側縁は竜骨状突起を欠く。表面は弱く中高で光沢を欠く。点列部は不明瞭。列間部は弱く隆起し、疎な微小顆粒列と密な剛毛列をそなえるが、第 2 列間部はこれらを欠く。剛毛は背面のものより長い。

寄生樹種：ラワン。

分 布：フィリピン。

**Ambrosia Beetles found in Imported Tropical Timbers
from Southeast Asia and Others (Coleoptera : Scolytidae)***

Akira NOBUCHI⁽¹⁾

Summary

I have recently had an opportunity to examine the Mr. K. SATO's collection of ambrosia beetles collected in imported tropical timbers from Southeast Asia and other regions at Yokohama Plant Protection Station. Tropical ambrosia beetle is one of the most complicated and difficult beetle groups to identify because of an abundance of species and lack of a key to species.

The present study is an attempt to make a tentative key to species and redescrptions of these ambrosia beetles belong to the family Scolytidae in Japanese. Also notes on geographical distribution and host timbers are included. Recognized species in this paper are the following 5 genera and 70 species :

Eccoptyterus MOTSCHULSKY

E. spinosus (OLIVIER)

Webbia HOPKINS

W. obtusipennis SCHEDL

W. pado SAMPSON

W. orbicularis SCHEDL

W. 30-spinatus SAMPSON

W. platypoides EGGERS

W. spinipennis SCHEDL

W. dentatus EGGERS

Arixyleborus HOPKINS

A. subsimilis SCHEDL

A. imitator (EGGERS)

A. granifer (EICHHOFF)

A. hirusutulus SCHEDL

A. mediosectus (EGGERS)

A. rugosipes HOPKINS

A. granulifer (EGGERS)

Xylosandrus REITTER

X. germanus (BLANDFORD)

X. derupteterminatus SCHEDL

Xyleborus EICHHOFF

X. pumilus EGGERS

X. persimilis EGGERS

X. cylindromorphus EGGERS

X. laticornis SCHEDL

X. emarginatus EICHHOFF

X. concitatus SCHEDL

X. obliquesectus EGGERS

X. ursulus EGGERS

X. bidentatus (MOTSCHULSKY)

X. amplexicauda HAGEDORN

X. vestitus SCHEDL

X. fastigatus SCHEDL

X. amphicranulus EGGERS

X. fallax EICHHOFF

X. punctatissimus EICHHOFF

X. semiopacus EICHHOFF

X. subcostatus EICHHOFF

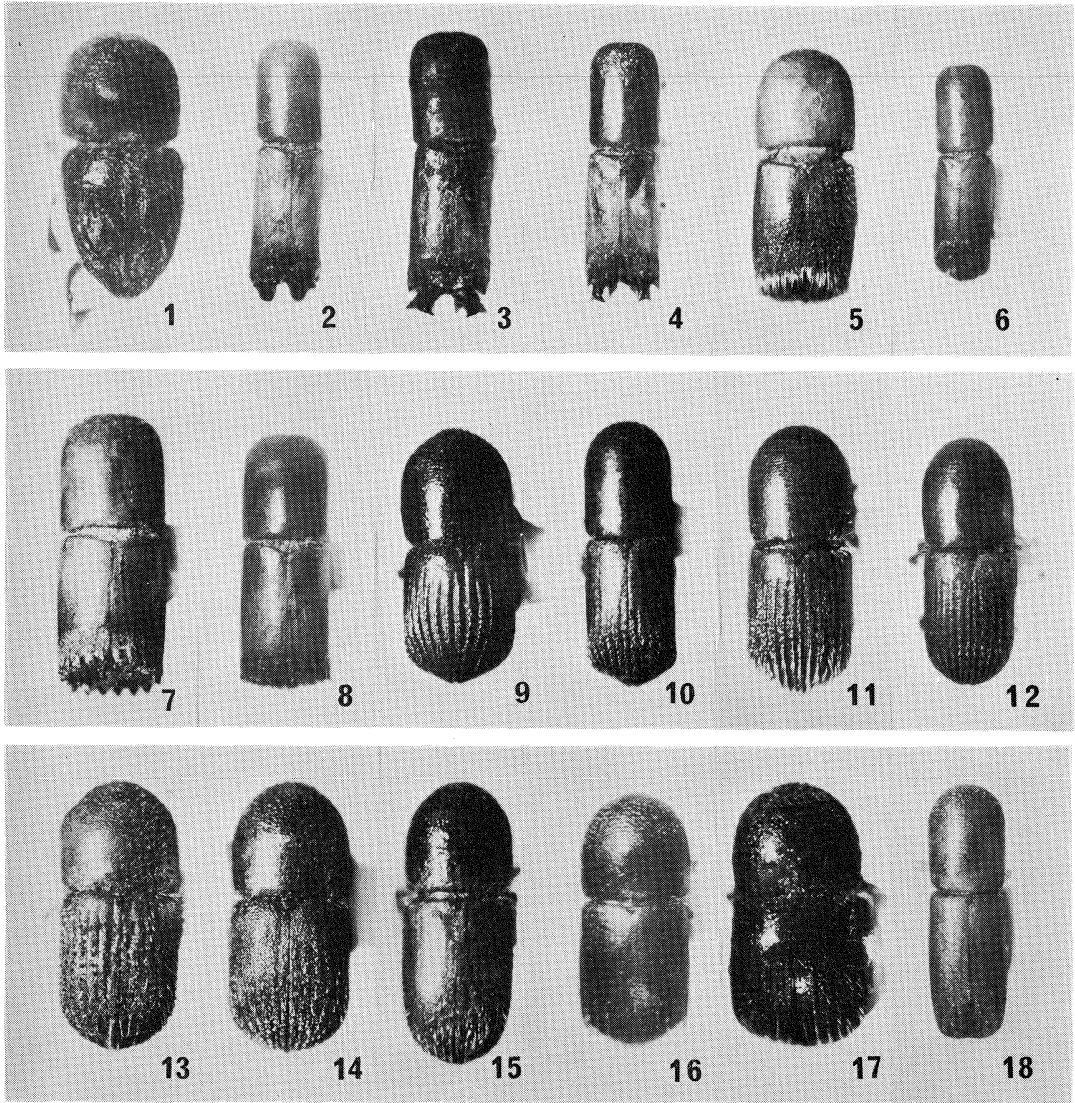
X. costatomorphus SCHEDL

* Studies on Scolytidae XIV

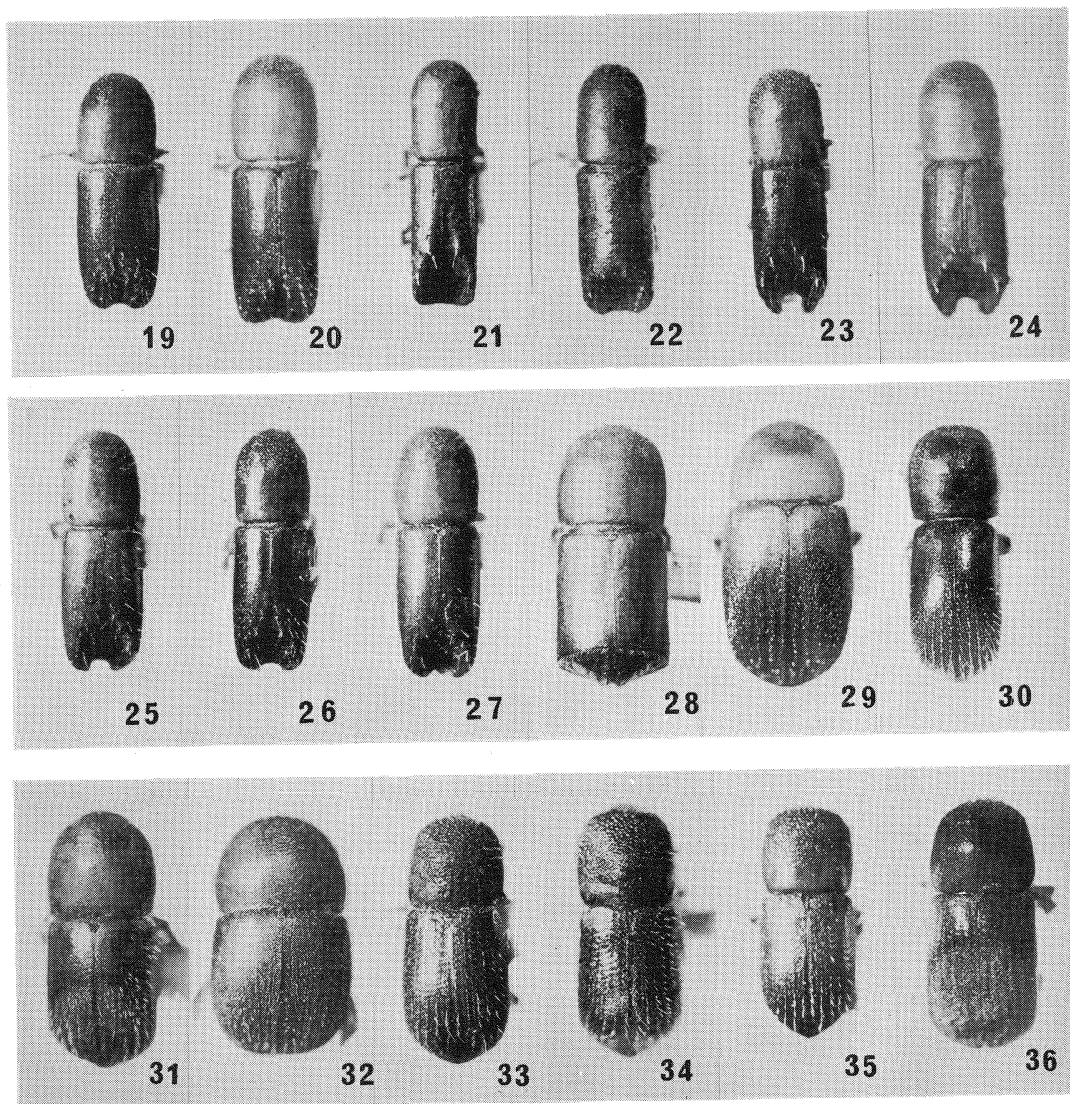
Received June 27, 1978

(1) Forest Protection Division

<i>X. concisus</i> BLANDFORD	<i>X. sexspinus</i> SCHEDL
<i>X. pseudopilifer</i> SCHEDL	<i>X. posticepilosus</i> SCHEDL
<i>X. macropterus</i> SCHEDL	<i>X. pseudomajor</i> SCHEDL
<i>X. funereus</i> LEA	<i>X. quadraticollis</i> EGGERS
<i>X. velatus</i> SAMPSON	<i>X. noxius</i> SAMPSON
<i>X. validus</i> EICHHOFF	<i>X. interjectus</i> BLANDFORD
<i>X. destruens</i> BLANDFORD	<i>X. procerrimus</i> SCHEDL
<i>X. solomonicus</i> SCHEDL	<i>X. similis</i> FERRARI
<i>X. indicus</i> EICHHOFF	<i>X. glabratus</i> EICHHOFF
<i>X. laevis</i> EGGERS	<i>X. satoi</i> SCHEDL
<i>X. eximius</i> SCHEDL	<i>X. subagnatus</i> EGGERS
<i>X. agnatus</i> EGGERS	<i>X. ferrugineus</i> FABRICIUS
<i>X. mascarensis</i> EICHHOFF	<i>X. pfeili</i> (RATZEBURG)
<i>X. cognatus</i> BLANDFORD	<i>X. torquatus</i> EICHHOFF
<i>X. perforans</i> (WALLASTON)	<i>X. diversicola</i> EGGERS
<i>X. saxeseni</i> (RATZEBURG)	<i>X. exiguus</i> WALKER
<i>X. sharpae</i> HOPKINS	<i>X. subnaevus</i> SCHEDL
<i>X. pedellus</i> SCHEDL	

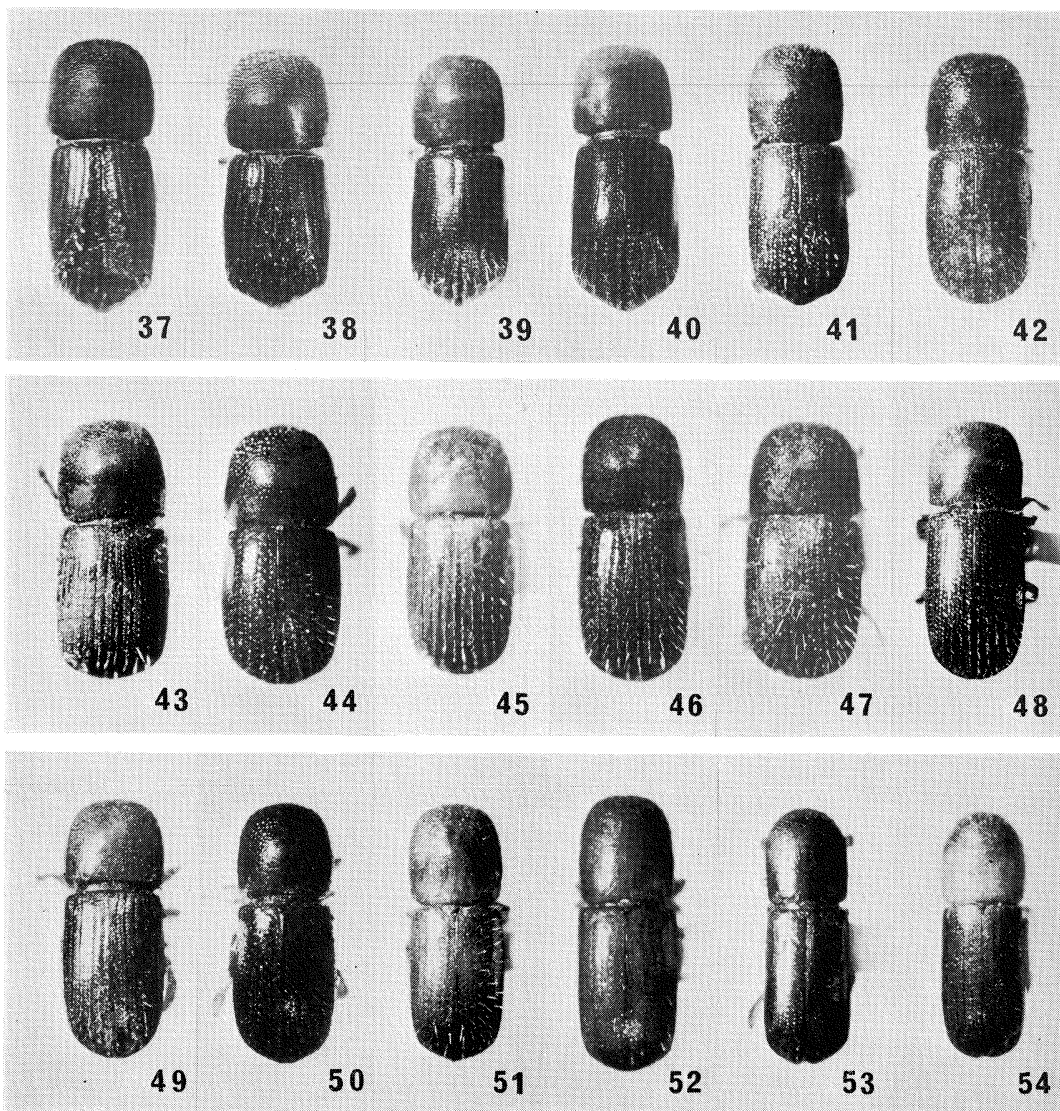


- | | |
|--|---|
| 1. <i>Eccoptopterus spinosus</i> (OLIVIER) (♀), | 2. <i>Webbia obtusipennis</i> SCHEDL (♀), |
| 3. <i>Webbia platypoides</i> EGGERS (♀), | 4. <i>Webbia pado</i> SAMPSON (♀), |
| 5. <i>Webbia spinipennis</i> SCHEDL (♀), | 6. <i>Webbia orbicularis</i> SCHEDL (♀), |
| 7. <i>Webbia dentatus</i> EGGERS (♀), | 8. <i>Webbia 30-spinatus</i> SAMPSON (♀), |
| 9. <i>Arixyleborus subsimilis</i> SCHEDL (♀), | 10. <i>Arixyleborus mediosectus</i> (EGGERS) (♀), |
| 11. <i>Arixyleborus imitator</i> (EGGERS) (♀), | 12. <i>Arixyleborus rugosipes</i> HOPKINS (♀), |
| 13. <i>Arixyleborus granifer</i> (EICHHOFF) (♀), | 14. <i>Arixyleborus granulifer</i> (EGGERS) (♀), |
| 15. <i>Arixyleborus hirusutulus</i> SCHEDL (♀), | 16. <i>Xylosandrus germanus</i> (BLANDFORD) (♀), |
| 17. <i>Xylosandrus derupteterminatus</i> SCHEDL (♀), | 18. <i>Xyleborus pumilus</i> EGGERS (♀). |



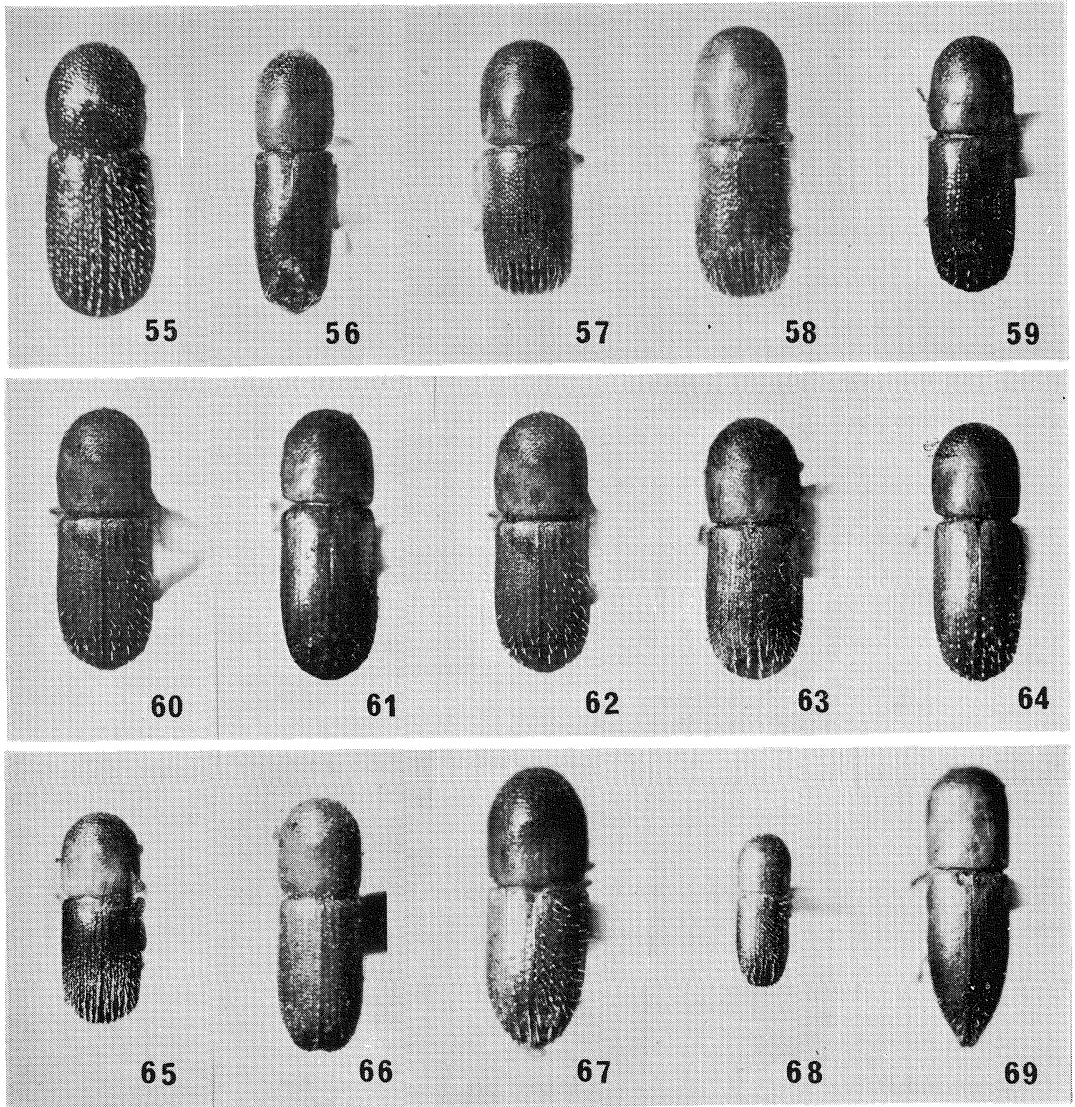
19. *Xyleborus amplexicauda* HAGEDORN (♀),
21. *Xyleborus vestitus* SCHEDL (♀),
23. *Xyleborus fastigatus* SCHEDL (♀),
25. *Xyleborus amphicranulus* EGGERS (♀),
27. *Xyleborus fallax* EICHHOFF (♀),
29. *Xyleborus punctatissimus* EICHHOFF (♀),
31. *Xyleborus semiopacus* EICHHOFF (♀),
33. *Xyleborus subcostatus* EICHHOFF (♀),
35. *Xyleborus costatomorphus* SCHEDL (♀),

20. *Xyleborus persimilis* EGGERS (♀),
22. *Xyleborus cylindromorphus* EGGERS (♀),
24. *Xyleborus laticornis* SCHEDL (♀),
26. *Xyleborus emarginatus* EICHHOFF (♀),
28. *Xyleborus concitatus* SCHEDL (♀),
30. *Xyleborus obliqueseclusus* EGGERS (♀),
32. *Xyleborus ursulus* EGGERS (♀),
34. *Xyleborus bidentatus* (MOTSCHULSKY) (♀),
36. *Xyleborus concisus* BLANDFORD (♀).



37. *Xyleborus sexspinatus* SCHEDL (♀),
39. *Xyleborus posticepilosus* SCHEDL (♀),
41. *Xyleborus pseudomajor* SCHEDL (♀),
43. *Xyleborus quadraticollis* EGGERS (♀),
45. *Xyleborus noxius* SAMPSON (♀),
47. *Xyleborus interjectus* BLANDFORD (♀),
49. *Xyleborus procerrimus* SCHEDL (♀),
51. *Xyleborus similis* FERRARI (♀),
53. *Xyleborus glabratus* EICHHOFF (♀),

38. *Xyleborus pseudopilifer* SCHEDL (♀),
40. *Xyleborus macropterus* SCHEDL (♀),
42. *Xyleborus funereus* LEA (♀),
44. *Xyleborus velatus* SAMPSON (♀),
46. *Xyleborus validus* EICHHOFF (♀),
48. *Xyleborus destruens* BLANDFORD (♀),
50. *Xyleborus solomonicus* SCHEDL (♀),
52. *Xyleborus indicus* EICHHOFF (♀),
54. *Xyleborus laevis* EGGERS (♀).



55. *Xyleborus satoi* SCHEDL (♀),
57. *Xyleborus subagnatus* EGGERS (♀),
59. *Xyleborus ferrugineus* FABRICIUS (♀),
61. *Xyleborus pfeili* RATZBURG (♀),
63. *Xyleborus torquatus* EICHHOFF (♀),
65. *Xyleborus diversicola* EGGERS (♀),
67. *Xyleborus exiguus* WALKER (♀),
69. *Xyleborus subnaevus* SCHEDL (♀).

56. *Xyleborus eximius* SCHEDL (♀),
58. *Xyleborus agnatus* EGGERS (♀),
60. *Xyleborus mascarensis* EICHHOFF (♀),
62. *Xyleborus cognatus* BLANDFORD (♀),
64. *Xyleborus perforans* (WALLASTON) (♀),
66. *Xyleborus saxeseni* (RATZBURG) (♀),
68. *Xyleborus sharpae* HOPKINS (♀),